

令和5年度
第1回 鶴岡市スポーツ推進審議会

日 時 令和5年8月25日(金) 午後1時30分

会 場 小真木原総合体育館 2階大会議室

次 第

1 開 会

2 挨拶

3 諮 問

4 報告と説明

5 協 議

(1) 鶴岡市スポーツ推進計画（後期）の評価・検証について 別添資料

(2) 第2期鶴岡市スポーツ推進計画策定に向けた見直し方針について

(3) その他

6 その他

7 閉 会

鶴岡市スポーツ推進審議会 委員名簿 (任期：令和4年3月1日から令和6年2月29日まで)

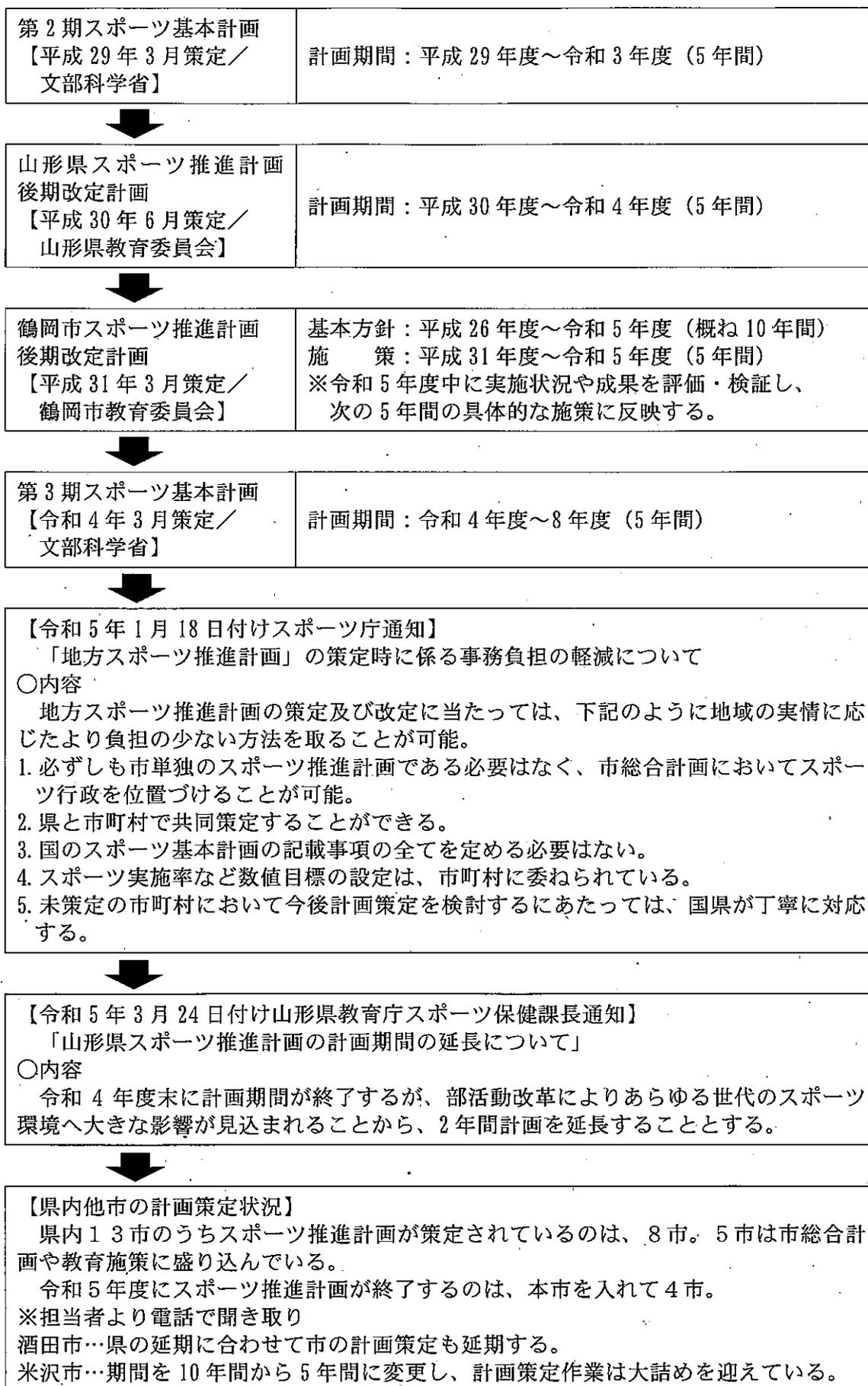
令和5年度第1回鶴岡市スポーツ推進審議会【令和5年8月25日(金)13:30開催】

NO.	役職	氏名	所属団体・役職	委嘱	出席
1	委員	高橋 健彦	鶴岡商工会議所 専務理事	令和4年3月1日	
2	委員	齋藤 隆	元オリンピック選手 元山形県教育庁スポーツ保健課長	令和4年3月1日	
3	委員	佐藤 祐司	鶴岡信用金庫 理事長	令和4年3月1日	
4	委員	里見 研	鶴岡市小学校体育連盟 会長	令和5年6月22日	
5	委員	和田 恭司	田川地区中学校体育連盟 会長	令和4年3月1日	
6	委員	難波 理	庄内地区高等学校体育連盟 会長	令和4年3月1日	
7	委員	丸山 春男	鶴岡市スポーツ推進委員会 会長	令和4年3月1日	
8	副会長	山本 益生	NPO法人鶴岡市スポーツ協会 会長	令和4年3月1日	
9	委員	佐藤 利浩	NPO法人鶴岡市スポーツ協会 専務理事	令和5年6月22日	
10	会長	村田 久忠	鶴岡市スポーツ少年団本部 本部長	令和4年3月1日	
11	委員	鎌田 博子	鶴岡市レクリエーション協会 理事	令和4年3月1日	
12	委員	佐藤 真紀	ふじしまスポーツクラブ クラブマネージャー	令和4年3月1日	
13	委員	佐藤 しおり	鶴岡フィットネス協会 会長	令和4年3月1日	
14	委員	川野 二三男	鶴岡地区体育協会連絡協議会 会長	令和5年6月22日	
15	委員	佐藤 満子	鶴岡市身体障害者福祉協会 会長	令和4年3月1日	

【事務局】

NO.	—	氏名	役職名等
1	—	布川 敦	教育長
2	—	永壽 祥司	教育部長
3	—	今野 新一	学校教育課長
4	—	佐藤 友大	学校教育課指導係専門員
5	—	阿部 三成	スポーツ課長
6	—	渡部 宏一	スポーツ課長補佐
7	—	伊藤 孝之	スポーツ課主査
8	—	佐藤 絵理	スポーツ課主査

1. 鶴岡市スポーツ推進計画見直しの背景と今後の推進計画（案）



東根市…これから計画策定作業に入る予定で、期間は決定してされていないが10年になる方向で調整中。



【本市の対応】

鶴岡市スポーツ推進計画（案）

案① 令和6年度～令和15年度の10年計画
（前期5年計画、後期5年計画）

案② 令和6年度～令和10年度の5年計画
（その後令和11年度からの第3次市総合計画に組み込む）



第2期

鶴岡市スポーツ推進計画
【令和6年3月策定予定/
鶴岡市教育委員会】

現計画について、以下の事項を踏まえた上で、第2期計画を策定する。

基本方針：令和6年度～ 年度（ 年間）

施策：令和6年度～ 年度（ 年間）

(1) 現計画の評価・検証

(2) 国の新たな施策（第3期スポーツ基本計画）

(3) 県の施策（山形県スポーツ推進計画後期改定計画）

2. 第2期計画策定のスケジュール（審議会開催予定）

8月25日 第1回審議会（諮問、現計画評価検証、国の新たな施策・県の施策、見直し方針検討）

10月31日 第2回審議会（計画案検討）

11月 教育委員会に意見聴取

1月 第3回審議会（計画案最終検討）

2月 計画答申

同 パブリックコメント

同 現審議会委員任期（令和6年2月29日まで）

3月 教育委員会（第2期鶴岡市スポーツ推進計画策定、施行）

同 第4回審議会（令和6年度主要事業・重点施策）

鶴岡市スポーツ推進計画後期改定計画（現行計画）の概要

（平成 31 年 3 月策定/鶴岡市教育委員会）

1. 基本目標 「生命いきいきスポーツのまち鶴岡の創造」

2. 前期から 10 年間を見通したスポーツ推進の基本方針

- ① 誰もが楽しめる生涯スポーツの推進
- ② 感動と活力を与える競技スポーツの推進
- ③ 誰もが安全・安心に利用できるスポーツ施設の環境整備
- ④ 地域に活力を生み出すスポーツ環境の充実

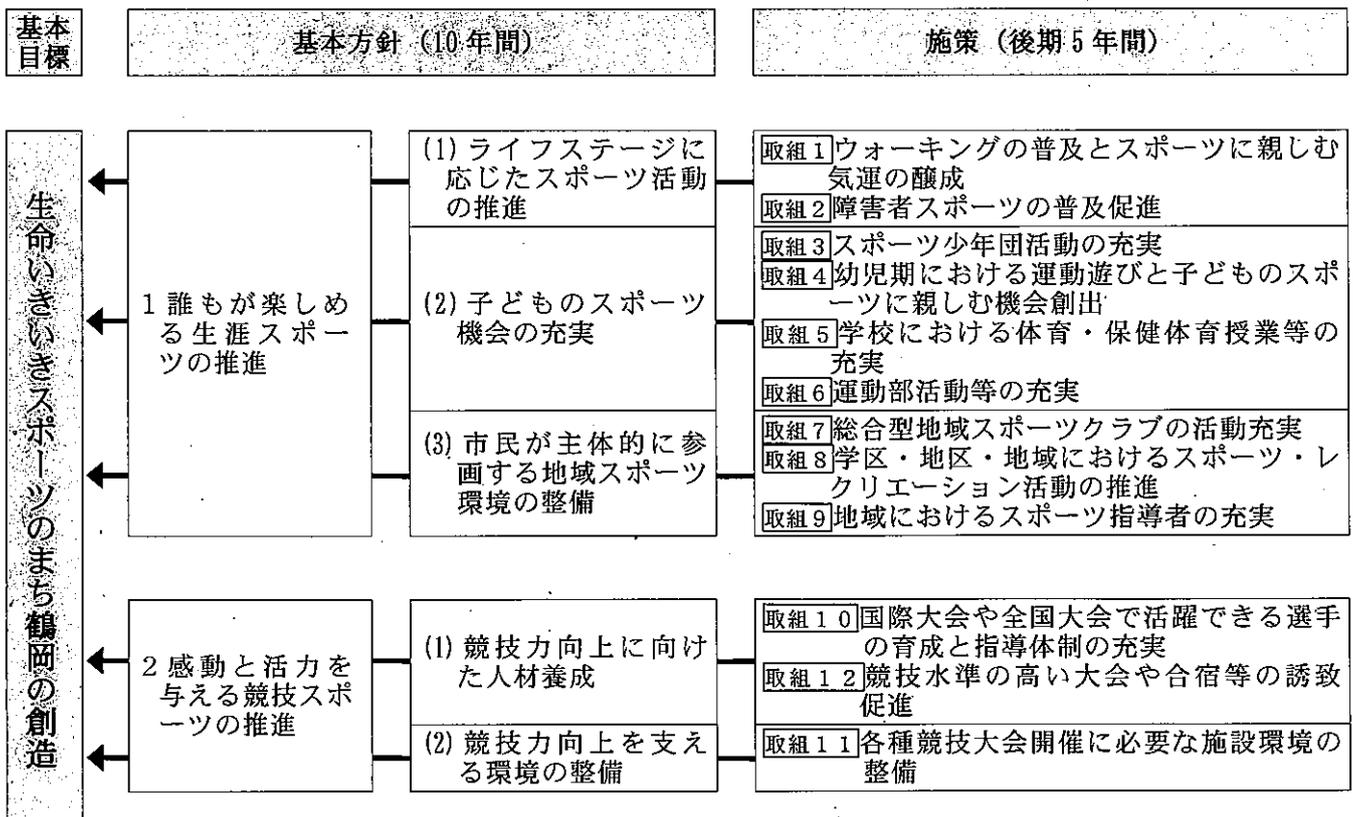
3. 計画の位置づけ

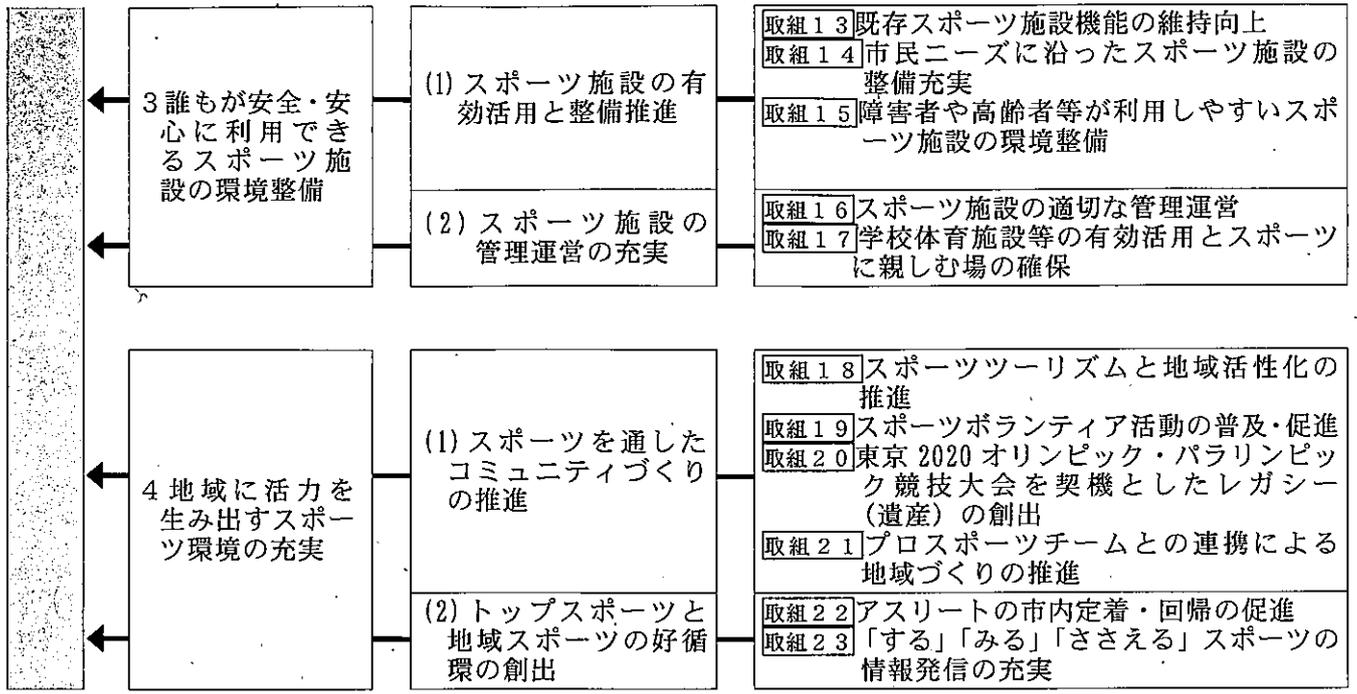
「鶴岡市総合計画」における「市民スポーツの振興」を着実に推進するための計画としての位置づけ。国の「スポーツ基本計画」及び山形県の「スポーツ推進計画」を参酌し、スポーツ基本法第 10 条に規定する「地方の実情に即した地方スポーツ推進計画」として策定したものの。

4. 計画期間

平成 26 年度から平成 30 年度までの前期 5 年間の取り組みを評価検討し、平成 31 年度から令和 5 年度までの 5 年間の具体的な施策に反映したものの。

5. 5年間（後期）の施策体系





第2次鶴岡市総合計画（平成31年度～令和10年度）

3 学びと交流

（5）市民スポーツの振興

ア 市民の健康・生涯スポーツの場の形成

○施策の方向

市民の誰もが目的や志向に応じて、いつでも、どこでもスポーツやレクリエーション活動に親しむことができる環境を整え、市民の心身の健康の保持増進、青少年の体力向上と健全な人格形成、いきがいのある生活の実現と心通い合う地域づくりを進めます。

○主な施策

- ① スポーツを「する人」、「みる人」、「支える人」が協働、連携してスポーツ活動に取り組み、スポーツを通じたコミュニティづくりを推進します。
- ② 地域の自然や文化に触れる屋外活動の普及や市民が参加し、楽しみ、交流できるスポーツイベントの開催について自主的に取り組み運営できる人材と団体を育成します。
- ③ 市民が主体的に参加する※総合型地域スポーツクラブを育成、支援します。
- ④ ※スポーツ少年団の育成など、子どもがスポーツを楽しめる環境を整備します。

イ 地域の活力となる競技スポーツの振興

○施策の方向

トップレベルの大会での地元スポーツ選手の活躍は、市民に喜びと感動を与え、地域の活性化につながるため、競技団体などの関係団体との連携強化により、地元選手の競技力向上や強化を図ります。また、青少年の指導環境を整えます。さらに、トップレベルの大会の開催や企業や大学のスポーツチームの合宿誘致、※東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿の誘致や来訪者との相互の交流を進め地域活性化を図ります。

○主な施策

- ① 中学校、高等学校の運動部や競技団体などが連携を図り、一貫した選手の育成ができる環境を整えます。
- ② 地元選手が国際的、全国的に活躍できるよう競技力の向上や強化を担う組織の育成を図り、また、※アスリートの育成を担う指導者の資質向上やトップアスリートの育成活動の充実を図ります。
- ③ 競技レベルの高い大会に向けた合宿の誘致を進め、地元選手の競技意識を高めます。また、見る楽しさや交流機会を提供することでスポーツへの関心を喚起し、市民のスポーツに対する多様な関わりを促進します。
- ④ トップアスリートなどの来訪をはじめ、2020年以降を見据えたスポーツや文化を通じた相互交流による地域活性化を図るホストタウン事業を推進します。

ウ 充実したスポーツ施設の管理運営

○施策の方向

市民誰もが安全に安心して、気軽にスポーツ施設を利用できるよう施設環境の整備改修を進めます。

○主な施策

- ① 屋内多目的運動施設や地域の拠点となるスポーツ施設など用途に応じた施設機能の整備を図り、障害者や高齢者などが安心して利用できる環境づくりを進めます。また、バリアフリー化も含めた既存スポーツ施設の修繕や改修などを行い、施設機能の維持と利用者の安全を確保します。
- ② 地域住民が利用しやすい身近なスポーツ活動の場としての学校体育施設の有効な活用を図ります。

エ 子どもや地域に関わるスポーツ環境の充実

○施策の方向

子どものスポーツ機会が持続できるように、スポーツ少年団などの地域での運動の場の提供や総合型地域スポーツクラブとの連携や融合を図ります。

○主な施策

- ① 幼児期から体を動かす遊びを通じて、楽しみながら自然に身体活動が行える取組を推進します。
- ② 総合型スポーツクラブが安定的、継続的に運営されるよう、クラブ間やスポーツ少年団などとの連携の支援を図ります。

※総合型スポーツクラブ

「多世代」「多種目」「多志向」を活動の基本とし、身近な地域でスポーツに親しむことのできる、地域住民が自主的・主体的に運営する地域に根差したスポーツクラブ。

※スポーツ少年団

スポーツを通じた青少年の健全育成を目的とする日本最大の青少年スポーツ団体。単位スポーツ少年団、市区町村スポーツ少年団、都道府県スポーツ少年団、日本スポーツ少年団の4つの段階で構成・運営されている。

※東京オリンピック・パラリンピック

東京を中心に2020年7月24日から8月9日までの期間で開催される予定の第32回夏季オリンピック競技大会と2020年8月25日から9月6日までの期間で開催される予定の第16回夏季パラリンピック競技大会

※アスリート

競技スポーツ選手。特にその競技で最高水準が認められている選手をトップアスリートという。

令和5年度鶴岡市教育委員会重点施策

生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動の推進

市民の誰もが年間を通してそれぞれの体力や年齢、目的に応じて、スポーツ・レクリエーション活動に親しめる生涯スポーツの推進を図り、一人ひとりが健康の維持・増進を通じて、生きがいのある生活の実現と心通い合う地域社会の形成に努めます。

また、市民に大きな感動と活力を与える競技スポーツの推進や、スポーツによるコミュニティづくりや地域活性化を進めます。

そのために、誰もが安全・安心に利用できるスポーツ施設の環境整備を進めるとともに、充実した管理運営に努めます。

新型コロナウイルス感染症の影響下においても、各種感染予防対策を講じつつ各種大会等の安全な開催を図り、スポーツを通して幸福で豊かな生活が営める環境づくりを進めます。

平成26年に策定した鶴岡市スポーツ推進計画の最終年度にあたることから、これまでの進捗を検証し、令和6年度から新たに進める第2期スポーツ推進計画の策定に取り組みます。

(1) 誰もが楽しめる生涯スポーツの推進

① ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

- ア スポーツに親しむきっかけづくりの推進
- イ 運動習慣の定着化に向けた市民参加型イベントの実施
- ウ 地域・学区・地区体育協会等主催スポーツ行事の開催支援
- エ すべての市民が安心してスポーツ・レクリエーションに親しめる環境整備
- オ 「てくてく健康里山あるき」等ウォーキング事業の充実
- カ 「市民登山」の開催支援
- キ スキー・ヨット教室などの地域性を活かしたスポーツ活動の支援
- ク 安全なスポーツ活動実施のための研修会等の開催支援
- ケ 安全・安心にスポーツに取り組める感染予防対策等の普及・啓発

② 子どものスポーツ機会の充実

- ア 幼児期からの発達過程を踏まえた身体活動の促進
- イ 子どもの体力向上に向けた普及啓発
- ウ 休日における運動部活動の地域移行の支援
- エ 安全なスポーツ活動実施のための指導
- オ 鶴岡市スポーツ少年団活動の支援
- カ 「子ども夢スポーツフェスティバルin鶴岡」の開催

③ 市民が主体的に参画する地域スポーツ環境の整備

- ア 総合型地域スポーツクラブの活動・自立支援
- イ スポーツ関係団体との連携によるスポーツ指導者の養成と資質の向上
- ウ スポーツ推進委員の資質の向上

④ 障害の有無にかかわらず誰もがスポーツを楽しめる環境の整備

- ア ボッチャの普及等を通じた障害者スポーツの振興と共生社会の実現
- イ 関係部署と連携したパラスポーツや軽スポーツの普及促進

(2) 感動と活力を与える競技スポーツの推進

① 競技力向上に向けた人材養成

- ア 鶴岡市スポーツ協会及び鶴岡市スポーツ強化後援会等の活動支援
- イ 国際大会や全国大会で活躍できる選手の育成強化と指導者の養成
- ウ 競技団体等における審判員の資質向上に向けた取組みへの支援

- エ 「山形県スポーツタレント発掘事業」への協力
- オ 競技水準の高い各種競技大会の開催支援と協力体制の確立
- カ スポーツ活動における暴言・暴力行為の根絶やハラスメントの防止に向けた啓発
- キ 山形県縦断駅伝競走大会鶴岡田川チームへの支援

② 競技力向上を支える施設環境の整備

- ア 全国大会・東北大会等が開催可能となるスポーツ施設の整備
- イ 競技ルール改正等に対応した施設機能の充実

(3) 誰もが安全安心に利用できるスポーツ施設の環境整備

① スポーツ施設の有効活用と整備推進

- ア 既存スポーツ施設機能の維持向上
- イ 屋内多目的運動場の活用推進
- ウ 建築基準法等各種法規に沿った耐震化対策・安全対策の推進
- エ 地域の拠点施設の整備充実促進
- オ 市民ニーズに沿った施設設備の整備充実
- カ 利用ニーズに対応したトレーニングルームの整備充実

② スポーツ施設の管理運営の充実

- ア 指定管理者制度による適正かつ効率的な管理運営の推進
- イ 学校体育施設開放などによる有効活用の推進
- ウ 本市スポーツ施策に沿った施設使用料の適正負担の推進
- エ 市の施策として支援が必要な利用者に対する施設使用料減免の推進
- オ 鼠ヶ関マリーナの適切な管理運営と有効活用

(4) 地域に活力を生み出すスポーツ環境の充実

① スポーツを通じたコミュニティづくりの推進

- ア する・みる・ささえるスポーツの情報発信の充実
- イ スポーツボランティア活動の普及促進
- ウ 地域・学区・地区体育協会の活動支援
- エ スポーツ表彰制度によるスポーツ活動の推進
- オ 「鶴岡市民総合体育大会」の開催支援
- カ 「鶴岡市駅伝競走大会」の開催
- キ スポーツ団体の組織運営への指導促進

② スポーツによる地域づくりと活性化、賑わいづくりの推進

- ア 全国大会・東北大会等の開催誘致
- イ (一社)日本ウオーキング協会公認「みんなで歩こう!里山あるき」の開催
- ウ 「ジャパンソフトバレーボール鶴岡フェスティバル」の開催
- エ 「国際ノルディックウォークin鶴岡」の開催
- オ 企業・大学等の合宿誘致の推進
- カ 東京2020オリンピック・パラリンピックのホストタウン相手国をはじめとしたスポーツを通じた国際的な交流の推進
- キ 「公益社団法人山形県スポーツ振興21世紀協会」との連携
- ク 女子バレーボールチーム「アランマーレ」との連携と活動支援
- ケ 「国際バドミントンU16」の開催支援
- コ 「第50回山形県レクリエーション大会」の開催支援

③ トップスポーツと地域スポーツとの連携・協働の推進

- ア トップアスリート等優れた指導者の活用推進
- イ 人材の好循環サイクル確立への協力



第3期スポーツ基本計画（概要）

【第2期計画期間中の総括】

① 新型コロナウイルス感染症：

- ▶ 感染拡大により、スポーツ活動が制限

② 東京オリンピック・パラリンピック競技大会：

- ▶ 1年延期後、原則無観客の中で開催

③ その他社会状況の変化：

- ▶ 人口減少・高齢化の進行
- ▶ 地域間格差の広がり
- ▶ DXなど急速な技術革新
- ▶ ライフスタイルの変化
- ▶ 持続可能な社会や共生社会への移行



こうした出来事等を通じて、改めて確認された

- ・「楽しさ」「喜び」「自発性」に基づき行われる本質的な『**スポーツそのものが有する価値**』（Well-being）
- ・スポーツを通じた地域活性化、健康増進による健康長寿社会の実現、経済発展、国際理解の促進など『**スポーツが社会活性化等に寄与する価値**』

を更に高めるべく、第3期計画では次に掲げる施策を展開

1. 東京オリ・パラ大会のスポーツ・レガシーの継承・発展に資する重点施策



持続可能な国際競技力の向上

- ◎ 東京大会の成果を一過性のものとせず、持続可能な国際競技力を向上させるため
 - ・NFの強化戦略プランの実効化を支援
 - ・アスリート育成プラットフォーム構築
 - ・スポーツ医・科学、情報等による支援を充実
 - ・地域の競技力向上を支える体制構築



共生社会の実現や

多様な主体によるスポーツ参画の促進

- ◎ 東京大会による共生社会への理解・関心の高まりと、スポーツの機運向上を契機としたスポーツ参画を促進
- ◎ オリパラ教育の知見を活かしたアスリートとの交流活動等を推進



スポーツを通じた国際交流・協力

- ◎ 東京大会に向けて、世界中の人々にスポーツの価値を届けたスポーツ・フォー・トゥー・モーション（SFM）事業で培われた官民ネットワークを活用し、更なる国際協力を展開、スポーツSDGsにも貢献（ドoping防止活動に係る人材・ネットワークの活用等）



大規模大会の運営ノウハウの継承

- ◎ 新型コロナウイルス感染症の影響下という困難な状況の下で、東京大会を実施したノウハウを、スポーツにおけるホスピタリティの向上に向けた取組みも含め今後の大規模な国際競技大会の開催運営に継承・活用



地方創生・まちづくり

- ◎ 東京大会による地域住民等のスポーツへの関心の高まりを地方創生・まちづくりの取組に活かし、将来にわたって持続・定着
- ◎ 国立競技場等スポーツ施設における地域のまちづくりと調和した取組を推進



スポーツに関わる者の心身の安全・安心確保

- ◎ 東京大会でも課題となったアスリート等の心身の安全・安心を脅かす事態に対応するため、引替中傷や性的ハラスメントの防止、熱中症対策の徹底など安全・安心の確保、暴力根絶に向けた相談窓口の一層の周知・活用

2. スポーツの価値を高めるための第3期計画の新たな「3つの視点」を支える施策

スポーツを「つくる/はくくむ」

社会の変化や状況に応じて、既存の仕組みにとらわれずに柔軟に見直し、最適な手法・ルールを考えて作り出す。

- ◆ 柔軟・適切な手法や仕組みの導入等を通じた、多様な主体が参加できるスポーツの機会創出
- ◆ スポーツに取り組む者の自主性・自律性を促す指導ができる質の高いスポーツ指導者の育成
- ◆ デジタル技術を活用した新たなスポーツ機会や、新たなビジネスモデルの創出などDXを推進

スポーツで「あつまり、ともに、つながる」

様々な立場・背景・特性を有した人・組織があつまり、ともに課題に対応し、つながりを感じてスポーツを行う。

- ◆ 施設・設備整備、プログラム提供、啓発活動により誰もが一緒にスポーツの価値を享受できる、スポーツを通じた共生社会の実現
- ◆ スポーツ団体のガバナンス・経営力強化、関係団体等の連携・協力による我が国のスポーツ体制の強化
- ◆ スポーツ分野の国際協力や魅力の発信

スポーツに「誰もがアクセスできる」

性別や年齢、障害、経済・地域事情等の違い等によって、スポーツの取組に差が生じない社会を実現し、機運を醸成。

- ◆ 住民誰もが気軽にスポーツに親しめる「場づくり」等の機会の提供
- ◆ 居住地離れにかかわらず、全国のアスリートがスポーツ医・科学等の支援を受けられるよう地域機関の連携強化
- ◆ 本人が望まない理由でスポーツを途中で諦めることがない継続的なアクセスの確保

3. 今後5年間に総合的かつ計画的に取り組む12の施策

① 多様な主体におけるスポーツの機会創出

地域や学校における子供・若者のスポーツ機会の充実と体力向上、体育の授業の充実、運動部活動の推進、女性・障害者・偏く世代・子育て世代のスポーツ実施率の向上等

④ スポーツの国際交流・協力

国際スポーツ界への意思決定への参画支援、スポーツ産業の国際展開を促すプラットフォームの創出等

⑦ スポーツによる地方創生、まちづくり

武蔵野アウトドアスポーツ等のスポーツツーリズムの更なる推進など、スポーツによる地方創生、まちづくりの創出の全国的加広化等

⑩ スポーツ推進のためのハード、ソフト、人材

民間・大学も含めた地域スポーツ施設の有効活用促進、地域スポーツコミッションなど地域連携組織の活用、全NFでの人材育成及び活用に関する計画策定を促進、女性のスポーツ指導者に精通した指導者養成支援等

② スポーツ界におけるDXの推進

先端技術を活用したスポーツ実施のあり方の拡大、デジタル技術を活用した新たなビジネスモデルの創出等

⑤ スポーツによる健康増進

健康増進に資するスポーツに関する研究の充実、調査研究成果の利用促進、医薬・介護や企業・保険者との連携強化等

⑧ スポーツを通じた共生社会の実現

障害者や女性のスポーツの実施環境の整備、国内外のスポーツ団体の女性役員候補者の登用・育成の支援、意識啓発、情報発信等

⑪ スポーツを実施する者の安全・安心の確保

暴行や不適切な指導等の恐れに向かい合う指導者養成、研修の実施、スポーツ安全に係る情報発信、安全対策の促進等

③ 国際競技力の向上

中長期の強化戦略に基づく競技力向上支援システムの確立、地域における競技力向上を支える体制の構築、国・JSPC・地方公共団体が一体となった国民体育大会の開催等

⑥ スポーツの成長産業化

スタジアム、アリーナ整備の着実な推進、他産業とのオンラインバーションによる新ビジネスモデルの創出支援等

⑨ スポーツ団体のガバナンス改革・経営力強化

ガバナンス・コンプライアンスに関する研修等の実施、スポーツ団体の戦略的経営を行う人材の雇用創出を支援等

⑫ スポーツ・インテグリティの確保

スポーツ団体へのガバナンスコードの普及促進、スポーツ仲裁・調停制度の理解促進等の推進、教育研修や研究活動等を通じたドーピング防止活動の展開等



「目指していただけ」のスポーツの「実現に向けた目標設定」

全ての人が自発的にスポーツに取り組むことで自己実現を図り、スポーツの力で、前向きで活力ある社会と、絆の強い社会を目指す

💡 **国民のスポーツ実施率を向上**

- ✓ 成人の週1回以上のスポーツ実施率を **70%** (障害者は40%)
- ✓ **1年に一度以上スポーツを実施する成人の割合を100%に近づける** (障害者は70%を目指す)

💡 **生涯にわたって運動・スポーツを継続したい子供の増加**
(児童86%⇒90%、生徒82%⇒90%)

💡 **子供の体力の向上**
(新体力テストの総合評価C以上の児童68%⇒80%、生徒75%⇒85%)

💡 **誰もがスポーツに参画でき、共に活動できる社会を実現**

- ✓ 体育授業への参加を希望する障害のある児童生徒の見学ゼロを目指した学習プログラム開発
- ✓ **スポーツ団体の女性理事の役割を40%**

💡 **オリンピック・パラリンピック等の国際競技大会で、過去最高水準の金メダル数、総メダル数、入賞者数、メダル獲得競技数等の実現**

💡 **スポーツを通じて活力ある社会を実現**

- ✓ **スポーツ市場規模15兆円の達成** (2025年まで)
- ✓ **スポーツ・健康まちづくりに取り組む地方公共団体の割合15.6%⇒40%**

💡 **スポーツを通じて世界とつながる**

- ✓ **ポストSFT事業を通じて世界中の国々の700万人の人々への裨益を目標に事業を推進**
- ✓ **国際競技連盟(IF)等役員数37人規模の維持・拡大**



事務連絡
令和4年4月28日

各都道府県・指定都市スポーツ主管課 御中

スポーツ庁政策課

スポーツ基本計画に基づくスポーツの推進に当たり
取り組んでいただきたい点について

3月25日に策定した第3期スポーツ基本計画については、同日通知にてお知らせしていたところです。

その際、地方公共団体向けに取り組んでいただきたい点を抜粋した資料等が完成し次第、追ってお送りする旨お伝えしておりましたが、このたびスポーツ施策の推進にあたり、各地方公共団体において取り組んでいただきたい点を以下のとおり抜粋しましたので、改めてご確認いただくとともに、別紙に記載の各制度・事業等もぜひご活用ください。

加えて、第3期計画を参酌してできる限り速やかに地域スポーツ推進計画を改定・策定いただくようお願いいたします。

多様な主体におけるスポーツの機会創出

国民のスポーツ実施率を向上させ、日々の生活の中で一人一人がスポーツの価値を享受できる社会の構築が期待されます。

スポーツ界におけるDXの推進

スポーツ界においてDXを導入することで、様々なスポーツに関する知見や機会を国民・社会に広く提供することを可能とし、スポーツを「する」「みる」「ささえる」の実効性が高まることが期待されます。

スポーツの国際交流・協力

スポーツの国際交流・協力を進めることで、スポーツ界における我が国の国際的な位置づけを高めるとともに、スポーツを通じた国・地域・人々のつながりが強まることが期待されます。

スポーツによる健康増進

地域住民の多様な健康状態やニーズに応じて、関係省庁で連携しつつ、スポーツを通じた健康増進により健康長寿社会の実現を目指すとともに、スポーツ実施率の向上を通じ、厚生労働省の策定する「健康日本21」に掲げる健康寿命の延伸が期待されます。

スポーツによる地方創生、まちづくり

全国各地で特色ある「スポーツによる地方創生、まちづくり」の取組を創出させ、スポーツを活用した地域の社会課題の解決を促進することで、スポーツが地域・社会に貢献し、競技振興への住民・国民の理解と支持を更に広げ、競技振興と地域振興の好循環の実現が期待されます。

スポーツの成長産業化

スポーツ市場を拡大し、その収益をスポーツ環境の改善に還元し、スポーツ参画人口の拡大につなげるという好循環を生み出すことにより、スポーツ市場規模 5.5 兆円を 2025 年までに 15 兆円に拡大することを目指します。

スポーツを通じた共生社会の実現

誰もが「する」「みる」「ささえる」スポーツの価値を享受し、様々な立場・状況の人と「ともに」スポーツを楽しめる環境の構築を通じ、スポーツを軸とした共生社会の実現が期待されます。

スポーツの推進に不可欠な「ハード」「ソフト」「人材」

場づくりや環境の構築、スポーツに関わる人材の育成等を進めることで、国民がスポーツに親しむ上で不可欠となる「ハード（場づくり）」「ソフト（環境の構築）」「人材」といった基盤の確保・強化が期待されます。

スポーツを実施する者の安全・安心の確保

スポーツを実施する者が、本人の希望しない理由等でスポーツから離れたり、スポーツに親しむ機会を奪われたりすることがないように、スポーツを実施する者の心身の安全・安心を確保します。

域内の市区町村等関係機関及び関係団体に対してもこの旨周知をお願いします。
ご不明点等ございましたら、各担当部署にお問い合わせください。

【スポーツ基本計画】

URL : https://www.mext.go.jp/sports/content/000021299_20220316_3.pdf

【第3期スポーツ基本計画特設HP】

URL : https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop01/list/1372413_00001.htm

【本件連絡先】

スポーツ庁政策課企画調整室政策調整係

電話 : 03-5253-4111 (内線 3936)

メール : sseisaku@mext.go.jp

現行計画（基本方針1～4）の成果

基本方針 1 【誰もが楽しめる生涯スポーツの推進】

令和5年8月25日開催
鶴岡市スポーツ推進審議会

別添資料

【目標】 20歳以上のスポーツ実施率を週1回以上が65%（平成30年度53.7%）、週3回以上が30%（平成30年度21.9%）となることを目指します。



【成果】 20歳以上のスポーツ実施率週1回以上が79.5%、スポーツ実施率週3回以上が47.5%となり、ともに達成しました。
また、スポーツ未実施率は、15.6%から11.1%となり4.5ポイント減少しました。

《20歳以上の週1回以上スポーツ実施率》

調査年月	実施率	状況
平成30年7月	53.7%	-
令和3年3月	55.6%	未達成
令和5年6月	79.5%	達成

《20歳以上の週3回以上スポーツ実施率》

調査年月	実施率	状況
平成30年7月	21.9%	-
令和3年3月	34.8%	達成
令和5年6月	47.5%	達成

○参考 《20歳以上の週1回以上スポーツ実施率》

	調査年	実施率
全国	令和4年	52.3%
山形県	令和4年	49.9%

○参考 《20歳以上の週3回以上スポーツ実施率》

	調査年	実施率
全国	令和4年	29.0%
山形県	令和4年	23.8%

現行計画（基本方針1～4）の成果

基本方針 2 【感動と活力を与える競技スポーツの推進】

【目標】 国際大会へ日本代表として出場する選手、または全国大会で優勝する選手を、年に10人程度輩出することを目指します。
 (平成31年3月の現状:年6.8人[鶴岡市体育協会体育功労者表彰勲功賞受賞者数の過去5年平均])。



【成果】 平成30年～令和4年度（過去5年間）の合計29人、年平均5.8人でしたので目標を達成していません。

年度	出場大会				優勝者数				合計	備考
	国際大会		全国大会		国際大会		全国大会			
	件	人	件	人	件	人	件	人		
令和4年	3	3	53	607	1	1	4	4	7	
令和3年	2	2	45	520	0	0	4	4	6	
令和2年	0	0	21	153	0	0	0	0	0	
令和元年	4	4	44	546	0	0	5	5	9	
平成30年	1	1	60	660	1	1	6	6	7	H30～R4合計29
平成29年	12	12	64	698	1	1	5	12	13	団体1、個人4
平成28年	11	11	54	626	0	0	3	3	3	
平成27年	1	1	58	647	0	0	1	5	5	団体1、個人0
平成26年	2	2	49	659	2	2	6	6	8	

現行計画（基本方針1～4）の成果

基本方針3【誰もが安全・安心に利用できるスポーツ施設の環境整備】

【目標】 計画期間内に屋内多目的運動施設を整備し供用を開始します。



【成果】 計画期間となる令和3年12月にJA鶴岡だだちゃアリーナ（鶴岡市屋内多目的運動場）を供用開始したことから、目標を達成しました。

基本方針4【地域に活力を生み出すスポーツ環境の充実】

【目標】 スポーツに関心がある市民の割合が85%（平成30年度74.1%）となることを目指します。



【成果】 平成30年調査より2.8ポイント増加していますが、目標の85%に未達成となりました。

《スポーツに関心がある人の割合》

調査年月	実施率	
平成30年7月	74.1%	-
令和3年3月	75.5%	※未達成
令和5年6月	76.9%	※未達成

現行計画（施策）の評価・検証・課題

基本方針 1【誰もが楽しめる生涯スポーツの推進】 (1)ライフステージに応じたスポーツ活動の推進 取組1～2

施策目標 ライフステージに応じたスポーツ活動を推進するため、市民一人ひとりが、それぞれの体力や年齢、性別、興味、目的に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことのできる生涯スポーツ社会の実現、健康寿命の延伸に向けた環境整備について、官民協働の取り組みを推進します。また、スポーツを実施することが困難な人にも留意しつつ、成人のスポーツ未実施者(一年間に一度もスポーツをしない人)の数がゼロに近づくことを目指します。

後期5年間の具体的施策	実施状況・成果・課題
取組1 ウォーキングの普及とスポーツに親しむ気運の醸成	
<p>○目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の健康・体力づくりを目的に、多くの方が手軽に取り組める運動としてウォーキングを推奨し、その普及を図ります。 ・「てくてく健康里山あるき」事業の充実・再構築を図ります。 ・各種団体が実施する様々なウォーキングイベントとの連携も検討しながら、ウォーキング事業の充実とウォーキングに取り組む気運の醸成を図ります。 ・市民参加型のスポーツイベント・大会等の開催や、事業所等への普及啓発を通して、スポーツ実施率が比較的低い傾向にある働き世代や女性などに対し、スポーツに親しむ気運の醸成や運動習慣の定着につながる取り組みを広げます。 	<p>○状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「つるおかスポーツチャレンジ」は、連続する 8 週間を運動取組期間とし、目標達成者に抽選で景品が当たるインセンティブを設定しています。(令和3年度～) ・鶴岡市スポーツ協会主催の鶴岡市民総合体育大会や鶴岡地区体育協会連絡協議会主催のシルバーレクスポ大会の開催、また地域・地区・学区の各体育協会等が実施するスポーツ・レクリエーション教室の運営等を支援しています。1-(3)-取組8にも記載しています。 ・体育協会や総合型地域スポーツクラブの支援を通して、年代に応じたスポーツ機会と環境づくりを行っています。 ・「てくてく健康里山あるき」は、地域の特色を生かしたコース設定で年間 14 コースを実施しています。各地域の実行委員会等が主体となり、市民が自然に親しみながらウォーキングを楽しめるイベントを実施しています。各種ウォーキングイベントに関し、継続参加の動機付けや参加意欲の向上を目的とした「鶴ウォーカーポイント」を活用しました。 ・地域の特色を生かしたスポーツ活動を実施する各地域体育協会へ補助金による支援と、地域の文化や豊かな自然を活用して「てくてく健康里山あるき」を開催しています。 ・「市民登山」は鶴岡市民健康スポーツクラブが主体となり、年 2 回実施を継続しています。 ・総合型地域スポーツクラブについては、1-(3)-取組7に記載しています。 ・スポーツ少年団については、1-(2)-取組3に記載しています。 <p>○成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「つるおかスポーツチャレンジ」は、ウォーキングを中心とした運動の実施継続を

現行計画（施策）の評価・検証・課題

基本方針 1【誰もが楽しめる生涯スポーツの推進】 (1)ライフステージに応じたスポーツ活動の推進 取組1～2

後期5年間の具体的施策	実施状況・成果・課題
	<p>推奨し、そのきっかけづくりと普及・促進をしました。 (延べ参加者数 R3:817人、R4:374人)</p> <p>・鶴岡市民総合体育大会やシルバーレクスポ大会の開催、また地域・地区・学区の各体育協会等が実施するスポーツ・レクリエーション教室の運営等を支援することで、スポーツを通じた健康増進と住民相互の交流が促進されました。</p> <p>・「てくてく健康里山あるき」は、感染状況を踏まえながら、多市町の参加者も受け入れ、参加者増加に努めました。ウォーキングイベント情報チラシを関係各所に設置し、初参加者の獲得につなげ、市民の健康・体力づくりを図りました。 (参加者数 H30:1,173人、R1:1091人、R2:286人、R3:402人、R4:626人)</p> <p>・「市民登山」は、庄内の自然や文化に親しみながら、相互交流を図ることができました。 (参加者数(年2回の計) H30:89人、R1:89人、R2:中止、R3:59人、R4:76人)</p> <p>○課題</p> <p>・「つるおかスポーツチャレンジ」は、参加者が高齢化しており、特に働き世代層の参加率が低いことが課題です。</p> <p>・「てくてく健康里山あるき」は、コースのマンネリ化や参加者の減少・固定化・高齢化が課題となっています。</p>
<p>取組2 障害者スポーツの普及促進</p>	
<p>○目的</p> <p>・障害者をはじめ配慮が必要な方々がスポーツを通じて社会参画ができるよう、社会全体で積極的に環境を整備することによって、人々の意識が変わり(心のバリアフリー)、共生社会が実現されること目指します。</p> <p>・障害者のニーズや意欲に合ったスポーツ機会を提供できるよう、他市町村等の先進事例等も参考にしながら、関係する団体間の連携・協働によって、スポーツ参加状況や支援体制の把握に努め、障害者スポーツの総合的な振興を図ります。</p> <p>・ホストタウン事業を通して、パラリンピックの競技種目である「ボッチャ」の普及を</p>	<p>○状況</p> <p>・ボッチャ大会の市長杯を創設し、障害者スポーツの普及・振興を図っています(令和元年度～)。</p> <p>・ボッチャ用具の貸し出し(R2:30件、R3:47件、R4:56件)、希望団体等への講習を実施しています。</p> <p>・ホストタウン事業によりドイツボッチャチームの事前合宿を受け入れ、市民との交流機会を創出しました(令和3年度)。</p> <p>・JA 鶴岡だだちゃアーナにボッチャコートを常設しました(令和3年度)。</p>

現行計画（施策）の評価・検証・課題

基本方針 1【誰もが楽しめる生涯スポーツの推進】 (1)ライフステージに応じたスポーツ活動の推進 取組1～2

後期5年間の具体的施策	実施状況・成果・課題
<p>図り、障害者スポーツへの理解の促進を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none">・羽黒体育センターに東京2020パラリンピックボッチャ競技で使用された床材(タラフレックス)を敷設しました(令和3年度)。 <p>○成果</p> <ul style="list-style-type: none">・ボッチャ用具の貸し出し、希望団体等への講習の実施により、市民へのパラスポーツの理解・普及促進が図られました。・パラスポーツ体験をしたことがある人の割合は9.4%となっており、全国の5.9%と比較して高くなっています。 <p>○課題</p> <ul style="list-style-type: none">・スポーツの実施状況等に関するアンケート調査(令和5年度)において、「パラスポーツ体験の有無」は、男性と20歳代で低い結果となっており、子育て世代等を重点ターゲットとした対策の検討が必要です。・障害者のスポーツ実施に対する環境づくりが必要となっています。

現行計画（施策）の評価・検証・課題

基本方針 1【誰もが楽しめる生涯スポーツの推進】 (2)子どものスポーツ機会の充実 取組3～6

施策目標 子どもたちが、心身ともにたくましく健康に成長していくよう、学校や地域等において、スポーツを楽しむことができる環境づくりを推進します。また、幼児期から運動遊びを通じて、楽しみながら身体活動が行える取り組みを推進するとともに、子どもたちがスポーツに親しむきっかけづくりに取り組みます。

後期5年間の具体的施策	実施状況・成果・課題
<p>取組3 スポーツ少年団活動の充実</p> <p>○目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域における子どものスポーツ機会を充実させるため、スポーツ少年団活動の支援を継続します。 ・スポーツ少年団は、スポーツ活動を中心としながら、野外活動、レクリエーション活動、社会活動、文化活動等を通して、青少年の心身の健全育成と地域づくりに大きく寄与しています。近年、少子化の影響によって、団員の減少による団の統合や小学校区の枠を超えた広域化の傾向が見られ、今後持続的に子どものスポーツ機会を提供していくためにも、総合型地域スポーツクラブとの連携・融合などを含め、将来的な子どものスポーツ環境の在り方を検討していきます。 	<p>○状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各単位団に対し、活動育成補助金を交付し、単位団活動を支援しています。 ・指導者の資質向上と母集団活動の充実を目的に、「鶴岡市スポーツ少年団指導者・母集団研修会」を毎年開催しています。 ・少子化やスポーツニーズの多様化、コロナ禍の影響により、団員・指導者の減少が続いており、それに伴った団の統合や小学校区枠を超えた広域化の傾向が見られます。 <p>○成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単位団数 (R1: 124 団⇒R4: 109 団(▲15団、12.1%減)) ・団員数 (R1: 2, 279 人⇒R4: 1, 903 人(▲376人、16.5%減)) ・指導者数 (R1: 706 人⇒R4: 414 人(▲292人、41.4%減)) <p>○課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子化やスポーツニーズの多様化等の影響により、スポーツ少年団の単位団数及び団員数が減少しています。 ・令和2年度にスポーツ少年団指導者制度が改正され、指導者登録には「日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格」の保有(有料)が義務付けられたこと、「役員・スタッフ」という登録区分(資格等不要)が新設されたことに伴い、指導者数が大幅に減少しています。 ・国では、スポーツ少年団を「ジュニア・ユーススポーツの総括組織」として体制強化する方針を示しており、また、スポーツ少年団が休日の中学校部活動の地域移行の受け皿となっていることから、指導者の養成等を通じ、幼児から高校生までのより幅広い年代を受入れる体制整備を図る必要があります。 ・子どもたち、保護者等のニーズ把握に努めるとともに、情報発信の強化等により団員数の拡大を図る必要があります。

現行計画（施策）の評価・検証・課題

基本方針 1【誰もが楽しめる生涯スポーツの推進】 (2)子どものスポーツ機会の充実 取組3～6

後期5年間の具体的施策	実施状況・成果・課題
<p>取組4 幼児期の運動遊びと子どものスポーツに親しむ機会の創出</p> <p>○目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児期の子どもたちが運動遊びを通して、身体を動かすことが心から楽しいと思えるような取り組みを推進し、その後の発育・発達段階、ひいては成人後において、運動・スポーツへの苦手意識や無関心につながらないよう、日本スポーツ協会の「アクティブ・チャイルド・プログラム(ACP)」の普及を図り、幼児期からの運動習慣の基礎づくりに取り組みます。 ・子どもたちが体を動かすことの楽しさを実感できるような機会を提供するため、親子で楽しめる子ども向けのスポーツイベントを開催し、子どもたちがスポーツに親しむきっかけ作りに取り組みます。 	<p>○状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども夢スポーツフェスティバル in 鶴岡を開催しています。 ・県スポーツ少年団が実施する ACP 普及促進研修会(令和4年度～)の運営補助しています。 ・子ども遊び応援(鶴岡市スポーツ協会自主事業)の開催を支援しています。 <p>○成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種イベント等の開催支援により、子どもたちがスポーツに親しむきっかけ作りが図られています。 <p>○課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの実施状況等に関するアンケート調査(令和5年度)において、「子どものスポーツ環境づくり」が、今後優先すべき取り組みの第2位となっており、幼児期からの運動習慣の基礎づくり、きっかけ作りとしてより一層取り組む必要があります。 ・子ども夢スポーツフェスティバル in 鶴岡への参加者が減少傾向にあり、幼児期の子どもへのアプローチを検討する必要があります。
<p>取組5 学校の体育に関する活動の充実</p> <p>○目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年3月に告示された小中学校学習指導要領を踏まえ、「する・みる・支える・知る」といった生涯にわたる豊かなスポーツライフを実現します。 ・運動やスポーツの多様な楽しみ方を共有します。 ・地域のスポーツ指導者やトップアスリートとしての経験を有する人材等の積極的な活用に努めます。 ・地域の特色を生かした体育的活動を取り入れます。 ・日常的な運動習慣づくりのため「1学校1取組」の取り組みを奨励します。 ・学校体育施設・設備等の安全管理を徹底します。 ・けがの防止や簡単な手当等についての知識や技術が身に付くよう指導します。 ・学校、家庭、地域の連携を図りながら食育を推進します。 	<p>○状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたって健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現することを重視し、体育と保健との一層の関連や発達の段階に応じた指導内容の明確化・体系化を図りつつ、指導と評価の充実が進められています。 <p>○成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国体力・運動能力運動、運動習慣等調査(平成28年度との比較)の結果より、調査対象である小5・中2男女において「体育・保健体育の授業は楽しい」と答えた児童生徒の割合の高まりがみられます。 ・「する・みる・支える」のスポーツとの多様な関わりの必要性や公正、責任、健康・安全等、態度の内容、及び子供たちの健康の大切さへの認識や健康・安全に関する基礎的な内容が身についています。

現行計画（施策）の評価・検証・課題

基本方針 1【誰もが楽しめる生涯スポーツの推進】 (2)子どものスポーツ機会の充実 取組3～6

後期5年間の具体的施策	実施状況・成果・課題
	<p>○課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・習得した知識や技能を活用して課題解決することや、学習したことを相手に分かりやすく伝えることが課題です。 ・運動する子供とそうでない子供の二極化している傾向や、コロナ禍での生活様式の変化の影響を踏まえ、体力の低下が見られたことなどがあります。
取組6 運動部活動等の充実	
<p>○目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン(平成 30 年3月スポーツ庁策定)」に沿った活動を展開します。 ・平成 30 年4月に策定した「鶴岡市中学校部活動等に関するガイドライン(鶴岡市教育委員会・鶴岡市中学校長会)」に基づいて、より充実した活動を展開します。 ・中学校部活動を円滑に運営していくための部活動指導員の整備拡大を図ります。 	<p>○状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子化が進展する中、現状通りの部活動運営では持続可能ではないことや、学校の働き方改革が推進されていく中、専門性や意思に関わらず、教師が顧問を務めていくことが一層厳しくなっていく状況を踏まえ、令和5年度から3年間をかけて、休日の部活動の段階的な地域移行が進められています。 <p>○成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習意欲の向上や自己肯定感、責任感、連帯感の涵養に資するなど、生徒の自主的で多様な学びの場として、体力や技術の向上のみならず、心の成長が図られています。 ・部活動改革に伴い、持続可能な運営活動が整備され、生徒が自由にスポーツ活動の場を選択できる環境整備が図られています。 ・学校の働き方改革がより一層、推進されています。 <p>○課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門的な知識と教養を持つ指導者の確保が課題である。指導者の質の向上を図るための研修会の実施や、指導者への報酬等、今後検討していく必要があります。 ・学校の働き方改革に伴い、大会の在り方について、主催となる各競技団体等との調整が必要となります。

現行計画（施策）の評価・検証・課題

基本方針 1【誰もが楽しめる生涯スポーツの推進】 (3)市民が主体的に参画する地域スポーツ環境の整備 取組7～9

施策目標 市民が主体的に参画するスポーツ環境を整備するため、総合型地域スポーツクラブをはじめ、学区・地区・地域の体育協会等の取り組みを支援するとともに、地域におけるスポーツ指導者の充実を図ります。

後期5年間の具体的施策	実施状況・成果・課題
<p>取組7 総合型地域スポーツクラブの活動充実</p> <p>○目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもから高齢者まで(多世代)、多様なスポーツを愛好する人々が(多種目)、初心者からトップレベルまで、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できる(多志向)という特徴を持つ総合型地域スポーツクラブを支援します。 ・総合型地域スポーツクラブは、自主的・主体的な活動を支える財源確保の難しさがあるものの、持続可能な健全経営による自主・自立運営を目指していけるよう支援していきます。 ・運営の核となる人材の確保や育成、市民ニーズに沿ったメニューの開発と提供、会員加入に向けた広報、自主財源確保等の取り組みを促進します。 ・各クラブ間の情報共有やネットワークの強化に取り組むとともに、行政各部署間においても連携した育成支援に努め、市民がスポーツに関わる活動を通して豊かな日常生活を送ることができる環境を目指します。 	<p>○状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市では、以下の9クラブが活動しています。 鶴岡市民健康スポーツクラブ(平成8年4月設立) 稲穂ファミリースポーツクラブ(平成18年1月設立) NPO 法人たかだてスポーツクラブ(平成19年2月設立) デポルターレ豊浦(平成20年2月設立) ふじしまスポーツクラブ(平成20年2月設立) くしびきスポーツクラブ(平成20年2月設立) あさひスポーツクラブ(平成21年9月26日設立) あつみスポーツクラブネクサス(平成19年2月設立) はぐろスポーツクラブ(平成25年2月設立) ・部活動の地域移行については、受け皿として会場予約や保険加入等の事務補助の役割を担っています(ふじしまスポーツクラブ・たかだてスポーツクラブ)。 <p>○成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民による主体的なスポーツ環境の整備と地域における生涯スポーツの振興を目的に、総合型地域スポーツクラブ(本市内全9クラブ)に対し、指導・助言・情報提供等の育成支援を継続するとともに、藤島・羽黒・樺引・朝日・温海の5クラブに対しては、将来的に自主自立運営を目指しながらも補助金交付による支援を行いました。 <p>○課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くのクラブが設立後15年程度経過し、事業補助の終了や会員の高齢化によるクラブの運営基盤の弱体化が見られます。また、コロナ禍における活動自粛の影響で退会者が増加しています。 ・核となる人材(クラブマネジャー)の確保・育成、市民のスポーツニーズに応え得

現行計画（施策）の評価・検証・課題

基本方針 1【誰もが楽しめる生涯スポーツの推進】 (3)市民が主体的に参画する地域スポーツ環境の整備 取組7～9

後期5年間の具体的施策	実施状況・成果・課題
	<p>る活動メニューの開発・提供、会員加入に向けた市民への広報、自主財源の確保等の取り組みが必要となっています。</p> <p>・総合型地域スポーツクラブが休日の部活動地域移行の受皿となっているため、その運営体制の整備が求められています。</p>
取組8 学区・地区・地域におけるスポーツ・レクリエーション活動の推進	
<p>○目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の健康増進と相互交流及び生涯スポーツの振興を図るため、各学区・地区におけるスポーツ・レクリエーションによるコミュニティづくりを推進します。 ・鶴岡地区体育協会連絡協議会加盟団体や鶴岡市レクリエーション協会が実施するスポーツ・レクリエーション教室等の開催を支援するほか各地域体育協会の活動を支援します。 	<p>○状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度実績 22団体中14団体実施 参加者延べ人数 計:1,564名 ・令和3年度実績 22団体中13団体実施 参加者延べ人数 計:1,457名 ・令和4年度実績 22団体中14団体実施 参加者延べ人数 計:1,779名 <p>○成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のニーズを把握しながら開催しており、スポーツを通じた健康増進と住民相互の交流促進が図られました(活動種目:ウォーキング、ポッチャ、バレーボール、e-スポーツ等約17種目)。 ・生涯スポーツ・地域スポーツに取り組むきっかけの場となっています。 ・幅広い年齢層に向けた住民同士の交流の機会となっています。 <p>○課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の影響によるスポーツ・レクリエーション教室を実施する団体の減少が続いています。
取組9 地域におけるスポーツ指導者等の充実	
<p>○目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質の高い指導者の育成や確保に向けて、日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づくスポーツ少年団の指導者養成講習会や、各種指導者研修会などへの参加を促していくことによって、一人でも多くの指導者の確保と資質向上に努め、指導者の充実を図ります。 ・また、市民のニーズを踏まえたスポーツのコーディネーターの役割を担うスポーツ推進委員においては、鶴岡市スポーツ推進委員会との連携を図りながら、熱意と能力のある人材を発掘するとともに、全国・東北・県・庄内などの各種研究大会への参加や、同委員会の研修会の開催などを通して資質向上に努め、地域におけ 	<p>○状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者の資質向上を図るため、「鶴岡市スポーツ少年団指導者・母集団研修会」を実施しています。 ・スポーツ少年団における各種研修会等の情報の周知を実施しています。 ・鶴岡市スポーツ強化後援会による指導者育成・研修を行っています。 ・スポーツ推進委員については、各種研修会等で情報収集を行い、事業の実施に係る連絡調整やスポーツの実技指導を行うとともに、市のスポーツ事業等でその成果を発揮しています。

現行計画（施策）の評価・検証・課題

基本方針 1【誰もが楽しめる生涯スポーツの推進】 (3)市民が主体的に参画する地域スポーツ環境の整備 取組7～9

後期5年間の具体的施策	実施状況・成果・課題
るスポーツ指導者の充実を図ります。	<p>○成果</p> <ul style="list-style-type: none">・スポーツ少年団指導者数(R1:706人⇒R4:414人)・東京オリンピック・アーチェリー競技代表選手を本市在住の高校教諭が指導・育成しました。・スポーツ推進委員は、各種スポーツ事業においてリーダー的な役割を果たしています。 <p>○課題</p> <ul style="list-style-type: none">・スポ少指導者登録制度の改正(令和2年度～)に伴い、日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格の取得が義務化され、資格取得費用が掛かるようになったことで、指導者数が大幅に減少しています。・スポーツ少年団指導者、スポーツ推進委員共に成り手不足(特に若手)が現場での課題として挙げられています。・競技を取り巻く環境が大きく変化しており、競技力向上に取り組む指導者の資格取得状況を把握する必要があります。

現行計画（施策）の評価・検証・課題

基本方針 2 【感動と活力を与える競技スポーツの推進】 (1)競技力向上に向けた人材養成 取組10、12

施策目標 競技力の向上を図るため、ジュニア期からトップレベルに至る計画的な人材養成の体制整備を図ります。また、オリンピックをはじめとする国際大会、全国大会で活躍できる選手を数多く育成することを目標とします。

後期5年間の具体的施策	実施状況・成果・課題
<p>取組10 国際大会や全国大会で活躍できる選手の育成と指導体制の充実</p> <p>○目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリンピックをはじめとする国際大会、全国大会等で活躍できる選手を育成するため、NPO法人鶴岡市スポーツ協会、鶴岡市スポーツ強化後援会及び競技団体が行う各種強化事業等を支援します。 ・アスリートの育成と競技力の向上には、ジュニア期における一貫した選手育成環境が重要なことから、競技団体等を中心に中学校体育連盟、高等学校体育連盟、総合型地域スポーツクラブ等と連携しながら、小学校から中学校、中学校から高等学校へ移行する期間での活動が中断しないように指導体制の充実に努めます。 ・また、スポーツ活動における暴力行為の根絶に向けた啓発に努めるとともに、トップレベルで活躍できるアスリートの輩出を目指した「山形県スポーツタレント発掘事業」へ引き続き協力します。 	<p>○状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鶴岡市スポーツ協会では、加盟団体に対し、ジュニアスポーツ教室の開催補助や、フィジカルトレーニング教室を開催するなど、指導者養成や競技力向上の取り組みを実施しています。また、スポーツの普及・振興、競技力向上等の功績のあった者や各競技の上位大会で優秀な成績を取めた選手を体育功労者として表彰する取り組みを継続しています。 ・鶴岡市スポーツ強化後援会では、スポーツ活動の強化と一層の競技力向上を目指して、指導者の養成と研修に関する事業、選手強化に関する事業及び上位大会出場選手の激励に関する事業を実施しています。 <p>○成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・競泳の小関也朱篤選手が国際大会や国内大会で活躍しました。 ・東京オリンピック・アーチェリー競技で中村美樹選手が活躍しました。 ・福岡ソフトバンクホークスで15年間現役選手として活躍した長谷川勇也選手は、本市出身であり、令和3年に市民栄誉賞を授与しました。 ・令和4年夏の甲子園大会において、仙台育英高校が東北初の栄冠を勝ち取った際の優勝投手が、本市出身であり、同投手に鶴岡市スポーツ奨励賞を授与しました。 ・羽黒高校バスケットボール部所属選手が、バスケットボール年代別日本代表に選出され、多くの国際大会に出場し、大会MVPを獲得するなど活躍しています。 <p>○課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍における大会の中止等もあり、国際大会出場者、全国大会優勝者数が、目標値を下回っています。しかし、東京オリンピック出場選手の輩出など質の高い活躍がなされており、今後につながる実績も見られました。

現行計画（施策）の評価・検証・課題

基本方針 2 【感動と活力を与える競技スポーツの推進】 (1)競技力向上に向けた人材養成 取組10、12

後期5年間の具体的施策	実施状況・成果・課題
<p>取組12 競技水準の高い大会や合宿等の誘致促進</p> <p>○目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トップレベルの競技を身近に観戦する機会を市民に提供するとともに、さらなる交流人口拡大による地域の活性化を図るため、全国・国際レベルの競技大会やスポーツ合宿等の誘致を促進します。 ・その誘致や運営には、行政のみならず、輸送や宿泊をはじめとする様々な業種の情報共有と連携が不可欠であり、地域全体で誘致活動を行うことができる体制の整備を目指します。 	<p>○状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際バドミントン大会を令和元年度、令和5年度に開催しました。 ・毎年、全国大会、東北大会が開催されました。 <p>○成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際バドミントン大会は、地元の競技力向上、国際交流による地域の活性化に寄与しています。また、世界に向けて鶴岡市をPRすることができました。 ・令和4年度に全国中学校サッカー大会を開催しました。 <p>○課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ合宿については、県や県内の他の自治体ではスポーツツーリズムの観点から積極的に誘致していますが、本市では、合宿中の施設占用などにより、地元競技団体との調整が必要となるため、積極的な誘致には至っていません。また、首都圏からの移動の不便さや、最近の気候の温暖化、宿泊を含む物価上昇など、課題はあるものの、豊かな食文化や3つの日本遺産と4つの国民保養温泉地がある本市の強みを生かした誘致が、今後必要となります。 ・国際バドミントン U16 は現在、トーナメントディレクターや審判員を県外者をお願いせざるを得ない状況ですが、今後継続して開催するためにも、人材の育成が必要です。 ・トップレベルの大会・合宿誘致に限らず、観光とのタイアップによるスポーツツーリズムと組み合わせる必要があります。

現行計画（施策）の評価・検証・課題

基本方針 2 【感動と活力を与える競技スポーツの推進】 (2)競技力向上を支える環境の整備 取組11

施策目標 競技力の向上に向け、地元選手の練習環境の充実とプロスポーツ等の大会の開催を促進するため、競技団体等と連携し、公認施設としての機能維持に努めるなどスポーツ施設環境の充実を図ります。

後期5年間の具体的施策	実施状況・成果・課題
<p>取組11 各種競技大会開催に必要な施設環境の整備</p> <p>○目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国的な競技会を開催する基準を満たし、トップアスリートの育成につながる競技スポーツ施設の環境を整備します。 ・競技規則の改正に対応した施設機能の充実を図ることが求められるおり、年次計画を立てて財源確保に努め、必要な改修を進めます。 	<p>○状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小真木原総合体育館において、バレーボールVリーグ公式戦が開催されました。 ・小真木原総合体育館において、バドミントンの国際大会が開催されました。 ・小真木原陸上競技場及び多目的広場を主会場に令和4年度全中サッカー大会が開催されました。 ・東京オリンピック・アーチェリー競技に本市在住選手が代表選出されました。 ・市民プールについて、令和元年度が日本水連公認期限となりました。 ・小真木原陸上競技場について、令和3年度が日本陸連公認期限となりました。 ・鶴岡市グラウンド・ゴルフ場について、令和3年度が公認コースの期限となりました。 <p>○成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小真木原総合体育館について、V1 リーグ公式戦開催可能な施設環境を整えました。 ・小真木原総合体育館について、国際大会開催可能なバドミントンコートマット等を設置しました。 ・全中サッカー大会の決勝戦を中心として、小真木原陸上競技場及び多目的広場が主会場として活用されました。 ・オリンピック選手を輩出したアーチェリー競技の更なる発展のために、ゆみーる小真木(小真木原南多目的広場)にアーチェリー競技用の射場上屋を設置しました。 ・市民プールについて、令和元年度に日本水連公認更新を行いました。 ・小真木原陸上競技場について、令和3年度に日本陸連第2種公認更新を行いました。 ・鶴岡市グラウンド・ゴルフ場について、令和3年度に日本グラウンド・ゴルフ協会の

現行計画（施策）の評価・検証・課題

基本方針 2 【感動と活力を与える競技スポーツの推進】 (2)競技力向上を支える環境の整備 取組11

後期5年間の具体的施策	実施状況・成果・課題
	<p>認定コースの更新を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none">・小真木原総合体育館について、バレーボールV1 リーグに適合した支柱等を整備する必要があり、令和5年度に整備しました。・小真木原陸上競技場の洋式トイレが不足していることから、1基整備しました。・小真木原公園東多目的広場について、全国中学校サッカー大会開催のため、芝生の補修と防球ネットの修繕を行いました。・小真木原陸上競技場の第2種公認更新のため、令和2年度にトラックのライン改修を、令和5年度にウレタン舗装補修及び備品更新を実施しました。 <p>○課題</p> <ul style="list-style-type: none">・小真木原総合体育館について、国際大会やプロスポーツトップリーグ開催の機会が増えており、特にトイレの洋式化が必要となっています。

現行計画（施策）の評価・検証・課題

基本方針3【誰もが安全・安心に利用できるスポーツ施設の環境整備】(1)スポーツ施設の有効活用と整備推進 取組13～15

施策目標 スポーツ施設環境が充実していることは、スポーツ振興のみならず、市民の健康づくりや地域活性化にもつながります。市民ニーズや利用実態を踏まえながら、障害者や高齢者等、市民の誰もが安全に安心して気軽に利用できる施設環境を整えとともに、スポーツ施設の機能維持・向上等の整備・改修を進めます。また、地域、利用者、学校、関係団体等の協働によって、地域住民が利用しやすい身近なスポーツに親しむ場の確保に努めます。

後期5年間の具体的施策	実施状況・成果・課題
<p>取組13 既存スポーツ施設機能の維持向上</p> <p>○目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存スポーツ施設は、整備後20年から30年経過した施設が多いことから、不具合箇所が同時、多発的に発生することもあるため、修繕・改修等に対応する予算を確保していきます。 ・施設利用者の安全面の観点から緊急性の高いものから優先順位をつけて、施設機能の維持と利便性の向上に努めます。 ・非構造部材の耐震化については、改修に向けて年次計画を立て財源確保を含めた検討を行います。 ・施設の長寿命化、有効活用及び集約化・複合化等を含めたスポーツ施設のストックの適正化計画について検討します。 	<p>○状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の安全面を確保し、施設を維持するための補修や利用者ニーズ、施設の長寿命化を図るため修繕を行いました。 ・故障により施設機能に支障をきたす恐れや各種競技大会開催に必要な公認施設を維持するため、改修工事を行いました。 ・照明LED化などエネルギー対策を実施しました。 <p>○成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の安全面を確保し、施設を維持するため、平成31年度に宝田体育館、令和2年度に羽黒体育館、令和5年度には朝日スポーツセンターのアリーナフロアの補修・塗装等の修繕を行いました。 ・利用者ニーズや安全性の観点から、令和3年度に羽黒テニスコート、藤島ふれあいと躍動の広場テニスコート、朝日スポーツセンターテニスコートの人工芝修繕を行いました。 ・故障により施設機能に支障をきたす恐れがあるため、令和3年度に小真木原総合体育館空調設備改修工事、令和4年度に櫛引スポーツセンター非常用放送設備改修工事、令和5年度には櫛引スポーツセンター空調設備改修工事を行いました。 ・各種競技大会開催に必要な公認施設を維持するため、令和2年度に小真木原陸上競技場トラックレーン幅の改修、令和5年度にはBゾーン(投擲エリア)の改修工事を行いました。 ・施設の長寿命化を図るため、令和2年度に市民プールろ過設備タンクライニング修繕、藤島体育館屋根改修・ランニングコース雨漏り修繕、朝日スポーツセンター体育レク室雨漏り修繕、令和3年度に櫛引スポーツセンターアリーナ雨漏り修繕、

現行計画（施策）の評価・検証・課題

基本方針3【誰もが安全・安心に利用できるスポーツ施設の環境整備】(1)スポーツ施設の有効活用と整備推進 取組13～15

後期5年間の具体的施策	実施状況・成果・課題
	<p>令和4年度に朝陽武道館軒天・体操ピットの雨漏り修繕を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民プールについて、令和3年度に照明LED化を実施しました。 ・スポーツ振興くじ助成金を活用しながら、平成31年度に小真木原陸上競技場電子音スタート発信装置、令和2年度に小真木原陸上競技場走高跳用マット、令和3年度は小真木原総合体育館バドミントン用マット等、令和5年度には小真木原陸上競技場ハードル等の整備を行いました。 <p>○課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気料や燃料費高騰に対応するため、再生可能エネルギーの導入など適切な更新計画の検討が必要です。 ・施設の適正化についての検討が進んでいないため、今後、適切な計画策定の検討が必要となっております。
<p>取組14 市民ニーズに沿ったスポーツ施設の整備充実</p>	
<p>○目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民ニーズの把握に努めながら整備を進めている屋内多目的運動施設については、出来るだけ早い時期の完成を目指しながら、誰もが安心して安全に利用できる施設として整備を進めます。 ・地域拠点体育館が未整備である鶴岡第三中学校区及び第五中学校区への整備促進を図るため、計画の再構築を図ります。 ・人工芝グラウンドについては、整備財源等を考慮した効果的・効率的・具体的な整備の方向性を検討します。 ・市民プールについては、必要な修繕に取り組みながら、将来的な施設の在り方について、整備の方向性の検討を進めます。 ・トレーニングルームの機器については、機器更新の年次計画を立てて適正配置に努めます。 	<p>○状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋内多目的運動場利活用会議を開催し、市民ニーズの把握に努めました。 ・鶴岡第三中学校区拠点体育館整備の検討を行いました。 ・人工芝グラウンド整備については、旧鶴岡病院跡地活用の事業として取り組みを進めました。 ・トレーニングルーム機器については、故障等の連絡や改善の要望が届いています。 ・施設改修等の年次計画の中にトレーニングルーム機器更新を組み込み、更新を行いました。 <p>○成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋内多目的運動施設は、令和3年度にJA鶴岡ただちゃアリーナとして供用開始され、多目的運動施設として様々な競技や子どもの遊び場として活用されています。また、施設予約システムを導入し、オンラインによる予約を行っています。 ・鶴岡第三中学校区拠点体育館整備については、第二学区コミュニティセンターとの合築による整備とし、軽スポーツを中心とした活動を行う施設整備を検討することとしました。

現行計画（施策）の評価・検証・課題

基本方針3【誰もが安全・安心に利用できるスポーツ施設の環境整備】(1)スポーツ施設の有効活用と整備推進 取組13～15

後期5年間の具体的施策	実施状況・成果・課題
	<ul style="list-style-type: none"> ・人工芝グラウンド整備については、旧鶴岡病院跡地活用事業として、令和5年度から実施しています。なお、病院解体が長期間となることから、供用開始予定は令和9年度としています。 ・トレーニングルーム機器更新については、令和4年度に藤島体育館・トレッドミル更新を行いました。 <p>○課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鶴岡第五中学校区拠点体育館については、要望が出されていますが整備検討までには至っておりません。 ・現在の体育館の利用状況は、ニーズに対して概ね充足しており、学校体育施設を含め、今後は有効活用をより一層努める必要があります。 ・トレーニングルーム機器については、老朽化や故障による改善要望が出されていますので、更新計画を進めていく必要があります。
<p>取組15 障害者や高齢者等が利用しやすいスポーツ施設の環境整備</p> <p>○目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者や高齢者等の施設利用の利便性向上を図るために、アメニティ施設であるトイレの洋式化を優先して計画的に取り組みます。 ・スポーツ施設の新設や建て替え、大規模改修を行う際には、総合的なバリアフリー化に取り組むとともに、ユニバーサルデザインによる施設整備に努めます。 	<p>○状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度の体育施設のトイレ洋式化率は、40%でありました。 <p>○成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度に新規に建設した JA 鶴岡だだちゃアリーナでは、障害者や高齢者も利用しやすいように段差をなくしたバリアフリー構造にして、車いすでも2階へ上がれるようにエレベーターを設置しました。また、トイレについては全て洋式にて設置しました。 ・既存施設では、令和元年度に朝日スポーツセンター外部トイレの男子トイレ1基と女子トイレ1基、令和3年度に小真木原陸上競技場の男子トイレ1基について、和式から洋式に改修しました。 <p>○課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存施設のトイレ洋式化が要望されていますが、改修が遅れており、今後、計画的に進めていく必要があります。 ・羽黒体育センターについて、東京パラリンピックのボッチャ競技で使用されたフロアマットを設置しましたが、施設が段差のないバリアフリーにされていないこと

現行計画（施策）の評価・検証・課題

基本方針3【誰もが安全・安心に利用できるスポーツ施設の環境整備】(1)スポーツ施設の有効活用と整備推進 取組13～15

後期5年間の具体的施策	実施状況・成果・課題
	<p>や、洋式トイレが設置されていないことから、バリアフリー化への要望が寄せられています。</p> <p>・小真木原総合体育館について、国際大会やプロスポーツトップリーグ開催の機会が増えており、特にトイレの洋式化が必要となっています。</p>

現行計画（施策）の評価・検証・課題

基本方針 3 【誰もが安全・安心に利用できるスポーツ施設の環境整備】 (2)スポーツ施設の管理運営の充実 取組16~17

施策目標 スポーツ施設に対する市民ニーズの把握に努め、適正かつ効率的、効果的な管理運営を図ることによって、利便性の高い充実したサービスを提供します。

後期5年間の具体的施策	実施状況・成果・課題
<p>取組16 スポーツ施設の適切な管理運営の推進</p> <p>○目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者がより使いやすい施設となることを目指して、スポーツ施設に対する市民ニーズの把握と、指定管理者制度による適正かつ効率的な管理運営に努め、市民サービスの向上を図ります。 ・県から指定管理を受けている鼠ヶ関マリーナについては、利用者のサービス向上を図りながら、適切な管理運営による施設供用に努めます。 	<p>○状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 25 年度から小真木原陸上競技場他 12 施設(旧鶴岡市)を指定管理者制度による管理運営を実施し、平成 26 年度から藤島体育館他 18施設(旧藤島町・旧羽黒町・旧櫛引町・旧朝日村)を、平成 27 年度から温海総合運動場他 1 施設(旧温海町)を指定管理者制度による管理運営を実施しています。 ・上記33 施設については、平成30 年度に一括して指定管理者へ管理運営を委任しています。 ・平成 26 年度から市民プールを指定管理者制度による管理運営を実施しました。 ・平成 18 年度から鼠ヶ関マリーナについて、市が指定管理者として県から受任して管理運営実施しています。 <p>○成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一括して指定管理者に委任している 34施設施設については、令和 5 年度に施設 2 期目となり、よりきめ細やかな管理運営に取り組んでいます。 ・市民プールについては、平成 31 年度から 2 期目の指定管理者による管理運営となり、よりきめ細かな管理運営に取り組んでいます。 ・令和 3 年度から JA 鶴岡だだちゃアリーナは、指定管理者制度による管理運営を実施しました。 ・令和 5 年度から鼠ヶ関マリーナについて、市が指定管理者として6期目の管理運営を受任し、よりきめ細かな管理運営に取り組んでいます。 <p>○課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設老朽化に伴う管理運営の負担が増大しているため、今後、市民サービスに支障を来さない取り組みが必要となっています。 ・鼠ヶ関マリーナについては、地方公共団体である市が今後も指定管理者を受任することが適切なのか、検討が必要となっています。

現行計画（施策）の評価・検証・課題

基本方針 3 【誰もが安全・安心に利用できるスポーツ施設の環境整備】 (2)スポーツ施設の管理運営の充実 取組16～17

後期5年間の具体的施策	実施状況・成果・課題
<p>取組17 学校体育施設等の有効活用とスポーツに親しむ場の確保</p> <p>○目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校体育施設は、各学校開放運営委員会が利用調整などの運営を円滑に行い、引き続き有効活用の推進を図ります。 ・コミュニティ施設や県・民間のスポーツ施設、本市の豊かな自然を体験したり、体を動かして遊んだすることができるオープンスペースなどの実態を把握し、多様なスポーツ環境の持続的な確保を目指します。 	<p>○状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度の学校開放による学校体育施設の利用は、延べ 328,486 人でした。 ・コミュニティ施設を活用した地区で行う軽スポーツ活動に対して、支援を行っています。 ・「てくてく健康里山あるき」を中心として、本市の豊かな自然を体験できる事業を実施しました。 ・市内にある民間のスポーツ施設における活用の可能性について検討したものの、有効活用することに至らず、現在は解体されています。 <p>○成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度の学校開放による学校体育施設の利用は、270,568 人となり、コロナ禍による影響もあり以前より大きく減少しました。 ・コミュニティ施設でも活動できる「ポッチャ」などの軽スポーツが普及しています。 <p>○課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校施設開放については、学校体育施設の利用が減少傾向にあり、有効活用のための検討が必要となっています。 ・市民の活動状況の把握に努めたためにも、県・民間等の他団体が運営している施設における利用状況を確認する必要があります。

現行計画（施策）の評価・検証・課題

基本方針 4【地域に活力を生み出すスポーツ環境の充実】 (1)スポーツを通じたコミュニティづくりの推進 取組18～21

施策目標 山形県にゆかりのあるプロスポーツチームとの連携を図り、市民のスポーツへの関心を高めるとともに、本市で育成されたアスリートの市内定着・回帰を促進するなど、トップスポーツと地域スポーツが互いに好影響を与え合う好循環を創出します。

後期5年間の具体的施策	実施状況・成果・課題
<p>取組18 スポーツツーリズムと地域活性化の推進</p> <p>○目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツイベントの魅力を上させ、スポーツツーリズムの推進による交流人口の拡大を図るとともに、イベントを通じた地域資源のPRなどによる地域経済の活性化をはじめ、市民の幅広い参画・交流を通じた地域コミュニティの維持・再生など、様々な面で地域の活性化につながるよう、市内外から誘客するスポーツイベントの充実を図ります。 ・スポーツ団体等が自ら核となり主体的に実施するスポーツツーリズムの取り組みを推進します。 	<p>○状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つるおかスリーデーウォークを開催しています。 ・ジャパンソフトバレーボール鶴岡フェスティバルを開催しています。 ・国際バドミントン U16 の開催支援については、2-(2)-取組12に記載しています。 ・企業・大学等の合宿誘致の推進については、2-(2)-取組12に記載しています。 <p>○成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度のつるおかスリーデーウォークは、県内在住者のみの募集でありましたが、298人が参加しました。 ・令和4年度のジャパンソフトバレーボール鶴岡フェスティバルは、全国から218人が参加しました。 ・2～3日間のイベントや大会を開催することで、県内外や国外から多くの選手、関係者、参加者が来鶴し宿泊を伴う滞在をすることで、地域経済の活性化が図られています。 <p>○課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の影響により、県外からの交流が行われない時期がありましたが、今後、県外・海外交流再開による効果を確認していきます。
<p>取組19 スポーツボランティア活動の普及・促進</p> <p>○目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民がスポーツボランティア活動に参画しやすい環境づくりに努めます。 ・市内のスポーツ大会やスポーツイベント等にスポーツボランティアを積極的に活用する取り組みを促進します。 	<p>○状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども夢スポーツフェスティバルやジャパンソフトバレーボール鶴岡フェスティバル等のスポーツイベントの開催においては、相当数のボランティア協力をいただいております。 ・スポーツの実施状況等に関するアンケート調査(令和5年度)において、どんな動

現行計画（施策）の評価・検証・課題

基本方針 4【地域に活力を生み出すスポーツ環境の充実】 (1)スポーツを通じたコミュニティづくりの推進 取組18～21

後期5年間の具体的施策	実施状況・成果・課題
	<p>機づけ(モチベーション)があれば、スポーツに関するボランティア活動を行ったり続けたりするかを聞いたところ、「出会い・交流の場」が 33.0%と最も高く、次いで「地域での居場所、役割、生きがい」が 29.2%、「社会貢献」が 24.4%、「好きなスポーツの普及・支援」が 22.3%の順となりました(複数回答上位4項目)。</p> <p>○成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの実施状況等に関するアンケート調査(令和5年度)において、この1年間にスポーツの指導やスポーツ大会の運営など、スポーツに関するボランティア活動を行ったかを聞いたところ、「行った」とする人の割合は、全体で 10.1%となりました(全国 9.9%)。市前回調査(20.7%)から半減しました。コロナ禍による大会等の中止による影響が考えられます。 <p>○課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人的にボランティアを希望する方への周知等の対応が必要です。 ・スポーツボランティアへの支援の在り方について、検討が必要となっています。
<p>取組20 2020 東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機としたレガシー(遺産)の創出</p> <p>○目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2020 東京オリンピック・パラリンピック競技大会において、ホストタウンである「ドイツ連邦共和国」と「モルドバ共和国」の両国との、スポーツ交流、文化交流等を通して、スポーツや国際文化、共生社会への理解など、市民意識の高揚を図るとともに、大会終了後においても、レガシー(遺産)として人的・経済的・文化的な交流が各分野で継続することによる地域の活性化を目指します。 	<p>○状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京 2020 オリンピック、モルドバ「アーチェリー」「柔道」「陸上ハンマー投」選手団の事前合宿を実施しました。 ・東京 2020 パラリンピック、ドイツ「ボッチャ」チームの事前合宿を実施しました。 <p>○成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック・パラリンピックが延期になった年も、リモートによる交流を図ることができました。 ・ホストタウン事業を通じ、ドイツとの市内高校生の交流へつながりました。 ・モルドバへの市民の関心が高まりました。 ・「ボッチャ」の普及につながり、特に障害者・高齢者への普及が進みました。 ・スポーツの実施状況等に関するアンケート調査(令和5年度)において、「ボッチャ」等のパラスポーツ体験の有無を聞いたところ、ホストタウン事業及び「ボッチャ」の普及に取り組んでいることから、全国と比較して体験したことがある人の割合が高くなっています。

現行計画（施策）の評価・検証・課題

基本方針 4【地域に活力を生み出すスポーツ環境の充実】 (1)スポーツを通じたコミュニティづくりの推進 取組18～21

後期5年間の具体的施策	実施状況・成果・課題
	<p>○課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポッチャ大会運営のための人材育成が必要となっております。 ・新型コロナウイルス感染症は収束に向かっているものの、社会情勢が極めて不透明であり、相手国(モルドバ)との交流がなかなか進んでいません。
<p>取組21 プロスポーツチームとの連携による地域づくりの推進</p> <p>○目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山形県で活動(試合開催等)をしている、またはホームスタジアムを有しているプロスポーツチーム(モンテディオ山形、パスラボ山形ファイヴアンズ、東北楽天ゴールデンイーグルス)や、本市ゆかりのプロ選手が活躍することは、スポーツ愛好家はもとより、多くの市民に一体感の醸成と感動を与え、スポーツ人口の拡大、スポーツへの関心の高まりや地域の活性化、競技力の向上等、本市のスポーツ推進にとって、非常に重要な要素となります。 ・市民がプロスポーツチームや本市ゆかりのプロ選手を応援し、誇りを感じることができるよう、プロスポーツチームとの連携を図り、市民のスポーツへの関心を高めて元気な町づくりを推進します。 	<p>○状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モンテディオ山形市町村応援デーにおいて、本市PR活動を実施しています。 ・プロスポーツチームからの依頼に応じ、市内小中学校へチラシ配布等の周知協力を実施しています。 ・アランマーレと公式戦開催や交流事業のための相互支援協定を締結しました(令和4年度～)。 ・アランマーレのホームゲームを本市で開催しています(令和3～5年度)。 ・パスラボ山形ファイヴアンズのホームゲームを本市で開催しています(令和5年度)。 <p>○成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの実施状況等に関するアンケート調査(令和5年度)において、プロスポーツチームへの関心度は69.7%と、前回調査時(平成30年度)よりも3ポイント増加しています。 ・アランマーレのVリーグ公式戦、パスラボ山形ファイヴアンズのBリーグ公式戦及びアランマーレ(バスケットボール女子)のWリーグ公式戦を実施しました。 <p>○課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの実施状況等に関するアンケート調査(令和5年度)において、女性または20歳代の関心度が比較的低く、SNS等で発信したくなるような魅力づくりが必要と思慮されます。 ・スポーツの実施状況等に関するアンケート調査(令和5年度)において、「鶴岡市開催であれば観戦したい」との意見が51.5%となっており、本市開催を誘致できるような取り組みの検討が必要です。

現行計画（施策）の評価・検証・課題

基本方針 4【地域に活力を生み出すスポーツ環境の充実】 (2) トップスポーツと地域スポーツの好循環の創出 取組 22～23

施策目標 山形県にゆかりのあるプロスポーツチームとの連携を図り、市民のスポーツへの関心を高めるとともに、本市で育成されたアスリートの市内定着・回帰を促進するなど、トップスポーツと地域スポーツが互いに好影響を与え合う好循環を創出します。

後期5年間の具体的施策	実施状況・成果・課題
<p>取組 2 2 アスリートの市内定着・回帰の促進</p> <p>○目的 ・本市で育成されたアスリートの市内定着・回帰を促進するとともに、本市スポーツを支える人材として活躍の場の拡充を図ります。 ・県内に就職したアスリートや指導者等のスポーツを支える人材として積極的に活用する取り組みに協力します。</p>	<p>○状況 ・東京オリンピック・アーチェリー競技に本市在住選手が代表選出されました。 ・リオオリンピック代表選手が本市に回帰し、指導者としての道を歩み始めました。</p> <p>○成果 ・市内小中高校生を対象とした本市とゆかりのあるオリンピックの講演会を実施し、意識の高揚を図ることができました。</p> <p>○課題 ・パリオリンピック代表候補が本市から育成されていません。 ・アスリートや指導者として本市に回帰・定着できる事業所や仕事が少ない状況です。</p>
<p>取組 2 3 「する」「みる」「ささえる」スポーツの情報発信の充実</p> <p>○目的 ・ライフステージに応じたスポーツ情報や、「する」「みる」「ささえる」に応じたスポーツ情報など、多角的にスポーツ情報の発信を行います。 ・スポーツ団体、スポーツ施設などが発信している情報も含めた情報を一元化して提供できる仕組み等を検討し、情報を得やすい環境の整備に努めます。</p>	<p>○状況 ・市広報・ホームページ・LINE等のSNSを利用して「する」「みる」「ささえる」スポーツの情報発信を行いました。 ・ウォーキング情報については、3か月ごとにスポーツ課のイベントだけでなく、ウォーキングを取り入れている他団体のイベントを集約し、チラシを作成し、情報を発信しました。 ・各スポーツ団体等を通してイベントボランティアの協力を依頼しました。</p> <p>○成果 ・インターネットの普及に伴い、市ホームページ・LINE(市公式)などの利用者が増え、スピード感を持って情報発信できるようになりましたが、市広報やイベント開催時のPR、チラシ配付による集客の効果は未だに高い状況にありました。特に、リピーターへの情報発信に効果がありました。</p>

現行計画（施策）の評価・検証・課題

基本方針 4【地域に活力を生み出すスポーツ環境の充実】 (2) トップスポーツと地域スポーツの好循環の創出 取組 22～23

後期5年間の具体的施策	実施状況・成果・課題
	<ul style="list-style-type: none">・ウォーキング情報のチラシは、参加者を募るとともに、「鶴ウォーカーポイントカード」のポイント付与のお知らせを掲載し、参加意欲を醸成することができました。・スポーツイベント等の開催においては、各スポーツ団体等の協力を得ながらたくさんの方のボランティアに協力をいただいています。 <p>○課題</p> <ul style="list-style-type: none">・スポーツを「する」「みる」「ささえる」人やそれ以外の人にも興味を持ってもらい、参加したくなるような情報の発信について、更に検討が必要です。

スポーツの実施状況等に関するアンケート調査

【鶴岡市調査】

結果報告書

令和5年8月

鶴岡市教育委員会スポーツ課

目次

I. 調査の概要	
（調査目的、調査項目、調査対象、調査時期、調査方法、調査主体、回収結果）	1
II. 調査結果	
1. 回答者の属性	
（1）性別 （2）年齢（年代 令和5年4月1日現在の満年齢）（3）地域別	2
2. 健康・体力・運動不足への認識	
（1）現在の健康状態	3
（2）体力の自信の有無	3
（3）運動不足を感じるか	4
（4）スポーツへの関心の有無	4
3. 運動・スポーツの状況	
（1）この1年間に行った運動・スポーツの種目	5
（2）この1年間の運動・スポーツの実施の有無	6
・成人の年1日以上の実施率	6
（3）この1年間に行った運動・スポーツの日数	7
・成人の週1日以上の実施率	7
・成人の週3日以上の実施率	7
（4）この1年間の運動・スポーツの実施頻度への満足感	8
（5）この1年間に運動・スポーツを行った理由	8
（6）この1年間に運動・スポーツを行わなかった理由	9
（7）パラスポーツ体験の有無	9
4. スポーツに関するボランティア活動について	
（1）この1年間のスポーツに関するボランティア活動の有無	10
（2）スポーツに関するボランティア活動を行うための動機づけ	10
5. 総合型地域スポーツクラブについて	
（1）総合型地域スポーツクラブの認知度	11
（2）総合型地域スポーツクラブへの加入意欲	11
（3）地域のスポーツ活動に期待する効果	12
6. 鶴岡市のスポーツ施設について	
（1）利用したことのある鶴岡市のスポーツ施設	13
（2）市のスポーツ施設の数や設備の満足度	14
（3）人工芝グラウンドの整備後の利用の仕方	14
7. プロスポーツチームへの関心について	
（1）プロスポーツチームへの関心度	15
（2）プロスポーツチームの試合の直接観戦意欲	15
8. 鶴岡市のスポーツ振興について	
（1）スポーツを推進するために力を入れるべき取り組み	16
（2）鶴岡市の運動・スポーツに関するご意見・ご提言	16
III. 調査票	19

調査の概要

1. 調査目的 鶴岡市スポーツ推進計画の第2期10か年計画を策定するに当たり、市民のスポーツに関する活動状況の実態を把握し、今後のスポーツ施策の参考とする。
2. 調査項目
 - (1) 記入者のことについて
 - 問1 性別
 - 問2 年齢(年代)
 - 問3 居住地域
 - (2) 健康・体力に対する意識について
 - 問4 現在の健康状態
 - 問5 体力の自信の有無
 - 問6 運動不足を感じるか
 - 問7 運動・スポーツへの関心の有無
 - (3) 運動・スポーツの実施状況
 - 問8 この1年間に行った運動・スポーツの種目
 - 問9 この1年間に行った運動・スポーツの日数(実施頻度)
 - 問10 この1年間の運動・スポーツの実施頻度に対する満足度
 - 問11 この1年間に運動・スポーツを行った理由
 - 問12 この1年間に運動・スポーツをしなかった理由
 - 問13 パラスポーツ体験の有無
 - (4) スポーツに関するボランティア活動について
 - 問14 この1年間に行ったスポーツに関するボランティア活動の有無
 - 問15 スポーツに関するボランティア活動を行うための動機づけ
 - (5) 総合型地域スポーツクラブについて
 - 問16 総合型地域スポーツクラブの認知度
 - 問17 総合型地域スポーツクラブへの加入意向
 - 問18 地域のスポーツ活動に期待する効果
 - (6) 鶴岡市のスポーツ施設について
 - 問19 利用したことがある市のスポーツ施設
 - 問20 市のスポーツ施設の数や設備の満足度
 - 問21 人工芝グラウンドの整備後の利用の仕方
 - (7) プロスポーツチームへの関心の有無
 - 問22 プロスポーツチームへの関心の有無
 - 問23 プロスポーツチームの試合観戦の意向
 - (8) 鶴岡市のスポーツ振興について
 - 問24 スポーツの推進に関して力を入れるべき事項
 - 問25 運動・スポーツに関するご意見・ご提言
3. 調査対象
 - (1) 調査対象 : 満18歳～79歳(令和5年4月1日現在)の鶴岡市民
 - (2) 標本数 : 1,000人
 - (3) 抽出方法 : 層化無作為抽出法
4. 調査期間 令和5年5月下旬～6月20日
5. 調査方法 郵送調査法
6. 回答方法 郵送及びやまがたe申請
7. 調査主体 鶴岡市教育委員会スポーツ課
8. 回答結果 有効回収数300人(回答率30.0%)
(回答数内訳: 郵送232人、やまがたe申請68人)

調査結果

■調査結果の表示方法

(N)は質問に対する有効回答者数で、100%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数です。結果数値(%)は、表章単位未満を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。全国・山形県とのデータ比較のために引用した調査結果は次のとおりです。

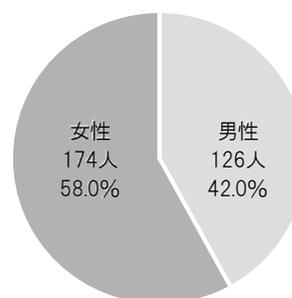
- ・全国：令和4年度「スポーツの実施状況に関する世論調査」スポーツ庁健康スポーツ課
- ・山形県：令和4年度「県政アンケート調査」山形県
- ・市前回：平成30年「スポーツライフに関する調査」鶴岡市教育委員会スポーツ課

1. 回答者の属性

(1) 性別

性別	人数(人)	割合(%)
男性	126	42.0
女性	174	58.0
合計	300	100.0

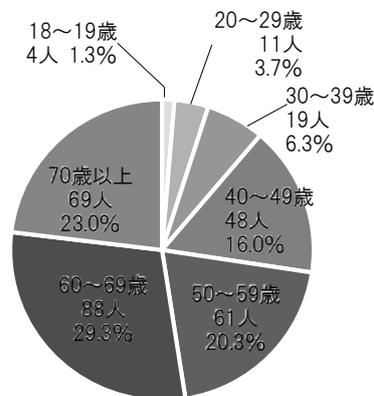
【性別】(N=300)



(2) 年齢別

年齢	人数(人)	割合(%)
18～19歳	4	1.3
20～29歳	11	3.7
30～39歳	19	6.3
40～49歳	48	16.0
50～59歳	61	20.3
60～69歳	88	29.3
70歳以上	69	23.0
合計	300	100.0

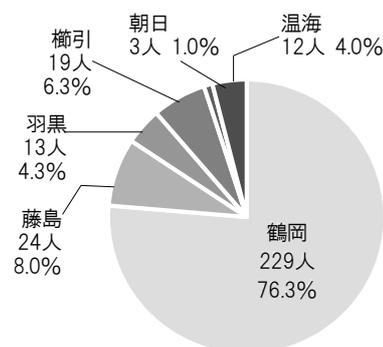
【年齢別】(N=300)



(3) 地域別

地域	人数(人)	割合(%)
鶴岡地域	229	76.3
藤島地域	24	8.0
羽黒地域	13	4.3
榎引地域	19	6.3
朝日地域	3	1.0
温海地域	12	4.0
合計	300	100.0

【地域別】(N=300)

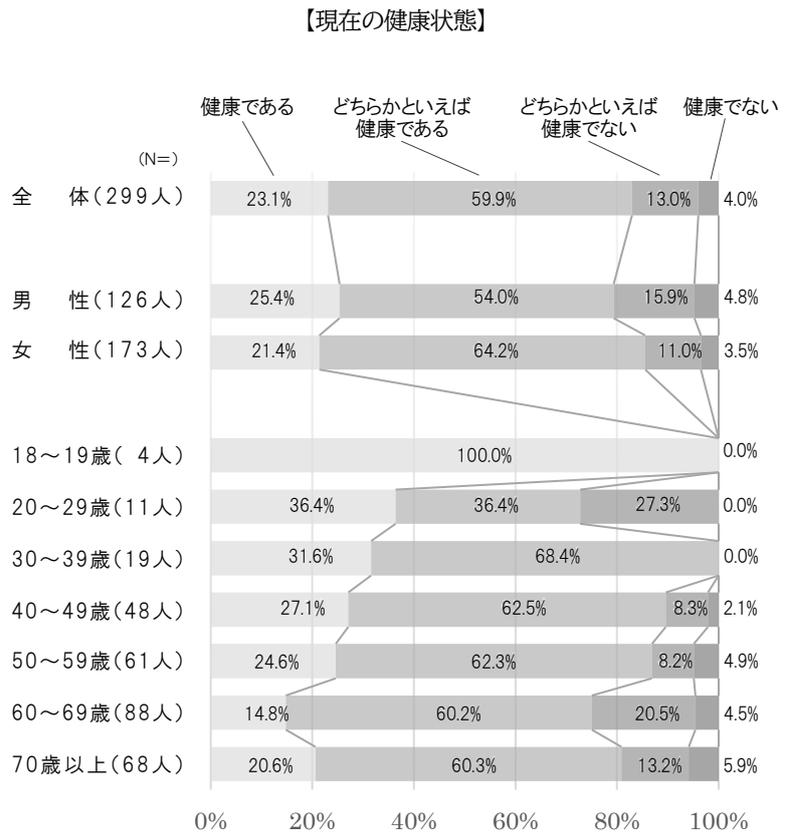


2. 健康・体力・運動不足への認識

(1) 現在の健康状態

このところ健康だと思うかを聞いたところ、「健康である」、「どちらかといえば健康である」とする人の割合は、全体で83.0%となりました（全国81.0%）。

男女別に見ても大きな差異はなく、年代別に見ても各年代とも、自らを健康であると認識している人の割合は高い傾向にあります。

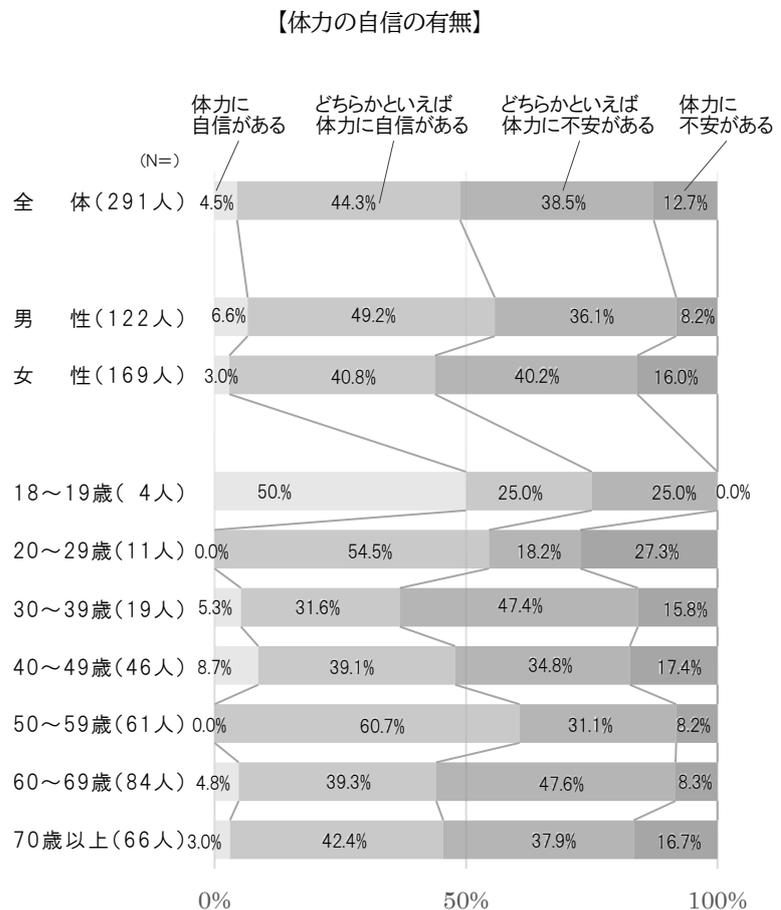


(2) 体力の自信の有無

自分の体力についてどのように感じているかを聞いたところ、「体力に自信がある」、「どちらかといえば体力に自信がある」とする人の割合は、全体で48.8%となりました（全国45.6%）。

男女別に見ると、「自信がある」とする人の割合は、男性が55.8%、女性が43.8%となり、女性の半数以上が自らの体力に不安があると認識している傾向が見られます。

年代別に見ると、「自信がある」とする人の割合は、10歳代の75.0%を最高に、各年代とも6割前後であり、30歳代の36.9%が一番低い割合となりました。



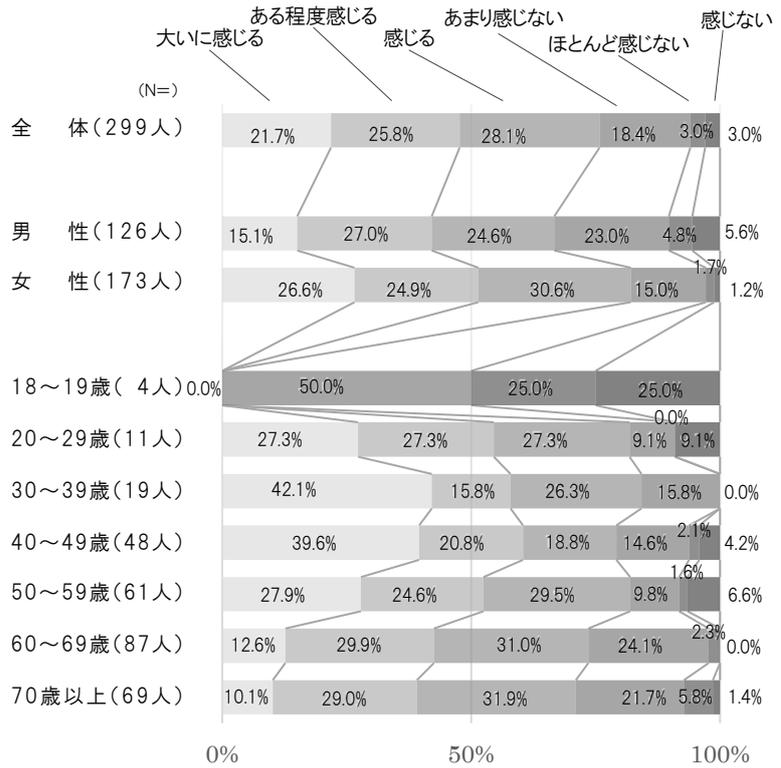
(3) 運動不足を感じるか

普段、運動不足を感じるかを聞いたところ、「大いに感じる」、「ある程度感じる」、「感じる」とする人の割合は、全体で75.6%となりました（全国76.2%）。

男女別に見ると、『運動不足を感じる』とする人の割合は、男性が66.7%、女性が82.1%となりました。

年代別に見ると、20歳代から50歳代の働き世代の年代で8割以上の方が自らを運動不足であると認識し、特に30歳代が84.2%と一番高い割合となりました。

【運動不足を感じるか】



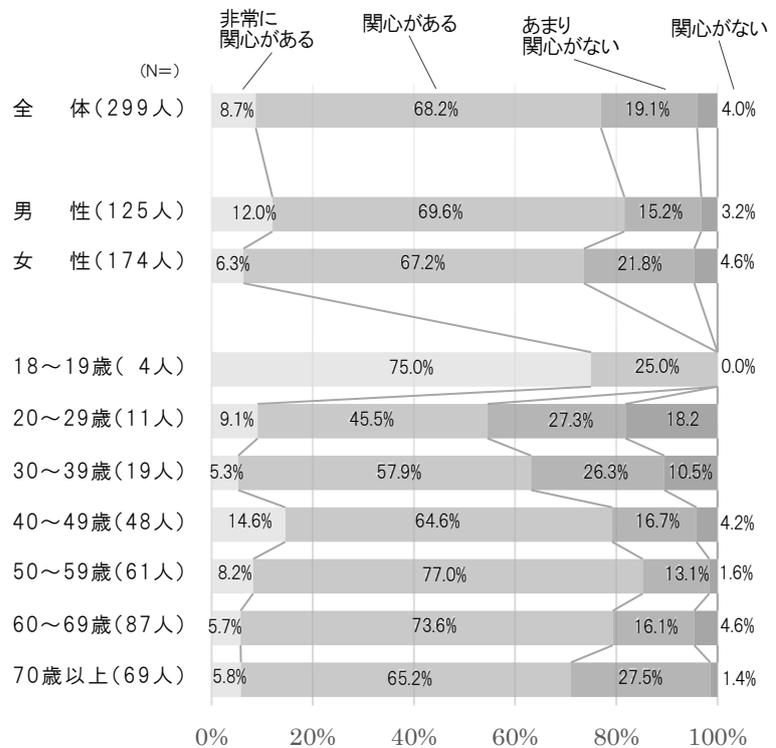
(4) スポーツへの関心の有無

運動・スポーツに関心があるかを聞いたところ、「非常に興味がある」、「興味がある」とする人の割合は、全体で76.9%となりました。

男女別に見ると、『興味がある』とする人の割合は、男性が81.6%、女性が73.5%となりました。

年代別に見ると、40歳代以上の各年代は8割前後の人が運動・スポーツへの関心があるとしていますが、20歳代から30歳代の年代にかけて、その割合が低い傾向が見られました。

【スポーツへの関心の有無】



3. 運動・スポーツの実施状況

(1) この1年間に行った運動・スポーツの種目

この1年間に行った運動やスポーツの種目については、「ウォーキング(散歩などを含む)」が66.3%と最も高く、次いで「体操」が46.3%、「階段昇降(なるべく階段を使うようにしたなど)」が37.3%、「トレーニング(筋トレ、縄跳び、ランニングマシンなど)」が23.3%の順となりました(複数回答上位4項目)。

実施率の最も高かった「ウォーキング(散歩などを含む)」については、市前回調査の50.5%から15.8ポイント増加しました。

【この1年間に行った運動・スポーツの種目】 (複数回答)



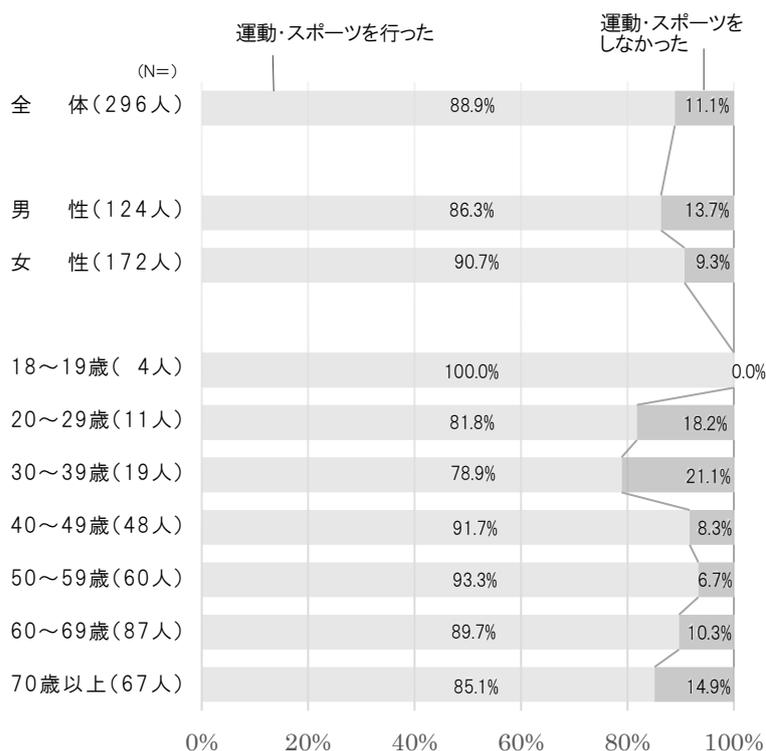
(2) この1年間に運動・スポーツの実施の有無

この1年間に運動・スポーツを行ったかを聞いたところ、何らかの運動・スポーツを行ったとする人の割合は、全体で88.9%（全国77.7%）となり、市前回調査と比較すると4.5ポイント増加しました。

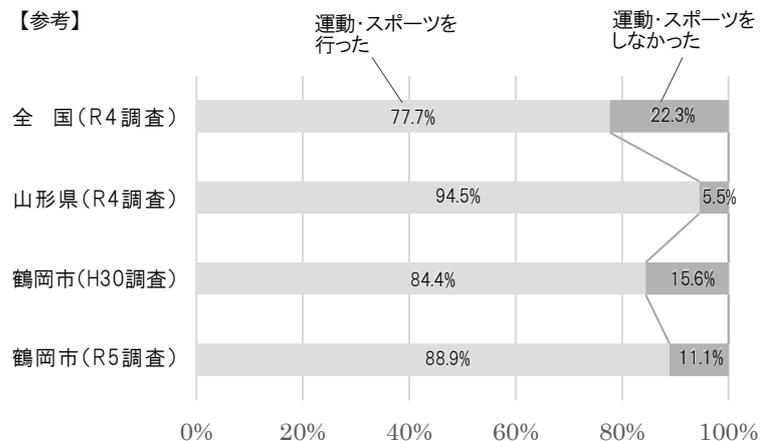
男女別に見ると、女性が運動・スポーツを行った割合が高くなり、市前回調査と逆転しました。

年代別に見ると、運動・スポーツをしなかったとする人の割合は、20歳代（18.2%）、30歳代（21.1%）で2割前後となり、市前回調査の20歳代（7.3%）、30歳代（11.7%）よりそれぞれ10ポイント前後増加しました。

【この1年間に運動・スポーツの実施の有無】



【参考】

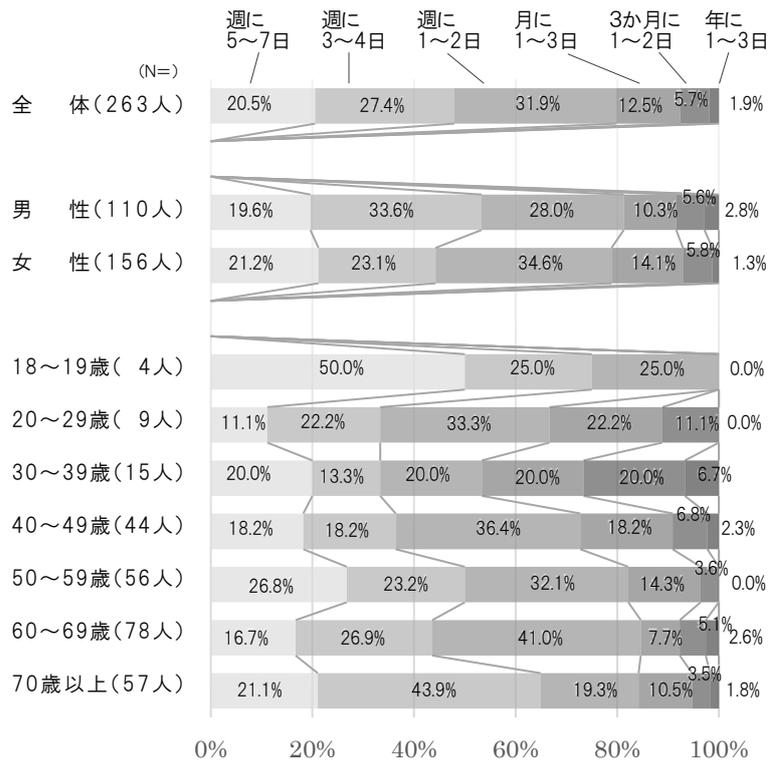


(3) この1年間に運動・スポーツを行った日数

この1年間に運動・スポーツをどのくらいの頻度で行ったかを聞いたところ、「週に1日以上」とした人の割合は、79.8%（「週に1～2日」31.9%+「週に3～4日」27.4%+「週に5～7日」20.5%）で、「週に3日以上」とした人の割合は、47.9%（「週に3～4日」27.4%+「週に5～7日」20.5%）となりました。

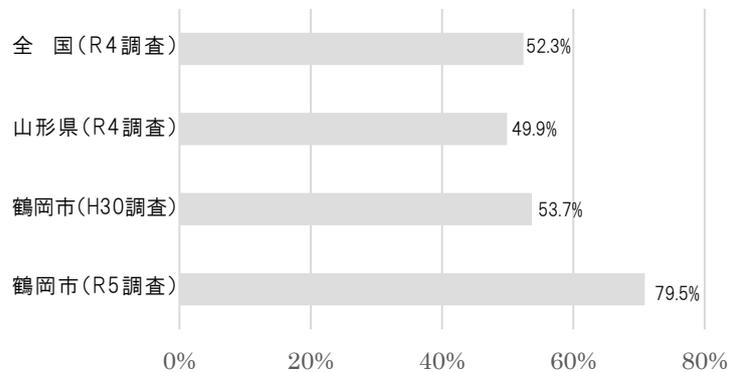
年齢別に見ると、「週に1日以上」及び「週に3日以上」とした人の割合は、10歳代が最高で、50歳代、70歳以上が高くなっています。30歳代の年代は、「週に1日以上」運動した人の割合が53.3%台と低い傾向が見られます。

【この1年間に運動・スポーツを行った日数】



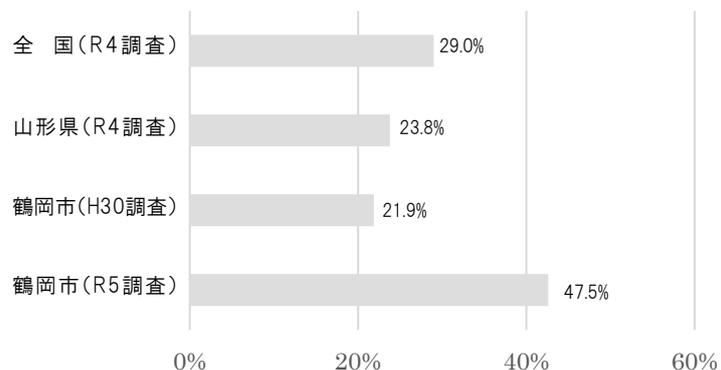
上記の年齢別集計から10歳代を除いた「20歳以上の週1日以上の運動実施率」は、79.5%となり、市前回調査と比較すると25.8ポイント増加しました。

【20歳以上の週1日以上の運動実施率】



同じく、「20歳以上の週3日以上」の運動実施率は、47.5%となり、市前回調査と比較すると25.6ポイント増加しました。

【20歳以上の週3日以上」の運動実施率】



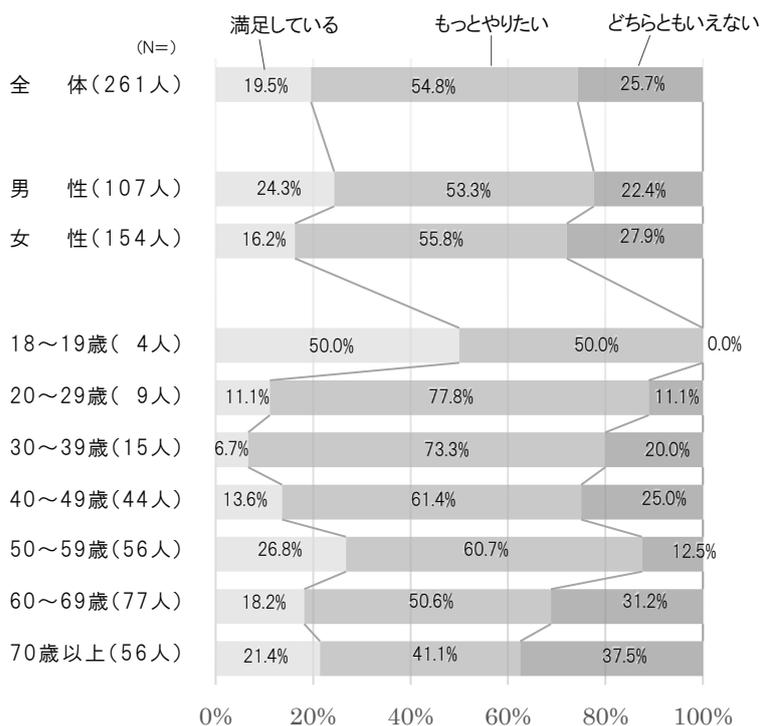
(4) この1年間の運動・スポーツの実施頻度に対する満足感

この1年間に行った運動・スポーツの実施頻度に対する満足感について聞いたところ、「満足している」人の割合は、全体で19.5%（全国16.9%）となりました。

男女別に見ると、「もっとやりたい」人の割合は、5割（全国4割）を超えています。

年代別に見ると、「もっとやりたい」人の割合は、20～60歳代の年代で5割以上となっています。

【この1年間の運動・スポーツの実施頻度の満足感】



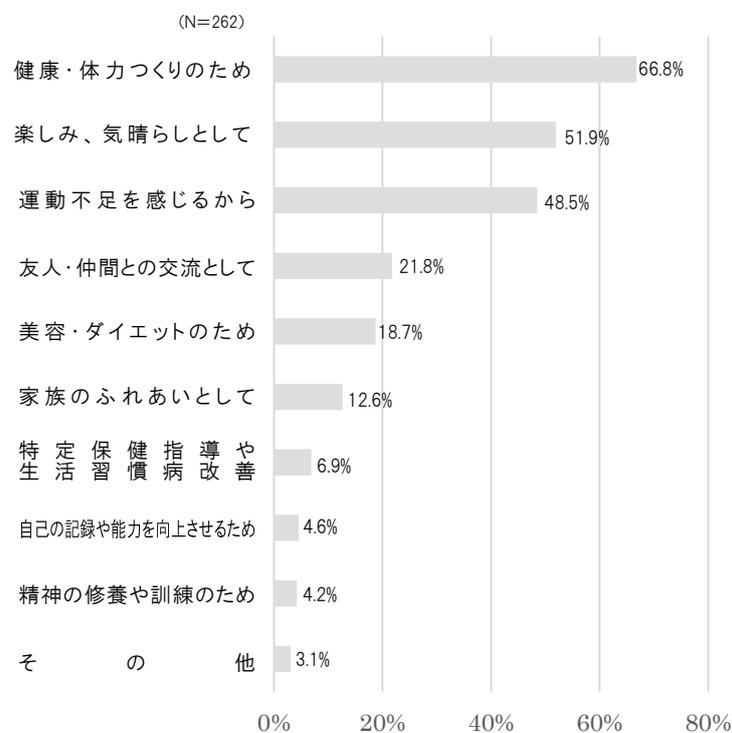
(5) この1年間に運動・スポーツを行った理由

この1年間に運動・スポーツを行ったとする人に、その理由を聞いたところ、「健康・体力づくりのため」が66.8%と最も高く、次いで「楽しみ、気晴らしとして」が51.9%、「運動不足を感じるから」が48.5%、「友人・仲間との交流として」が21.8%の順となりました（複数回答上位4項目）。

「その他」には、「仕事のための体力づくり」、「子どもの練習の付き合い」、「職場のラジオ体操」などがありました。

【この1年間に運動・スポーツを行った理由】

(複数回答)

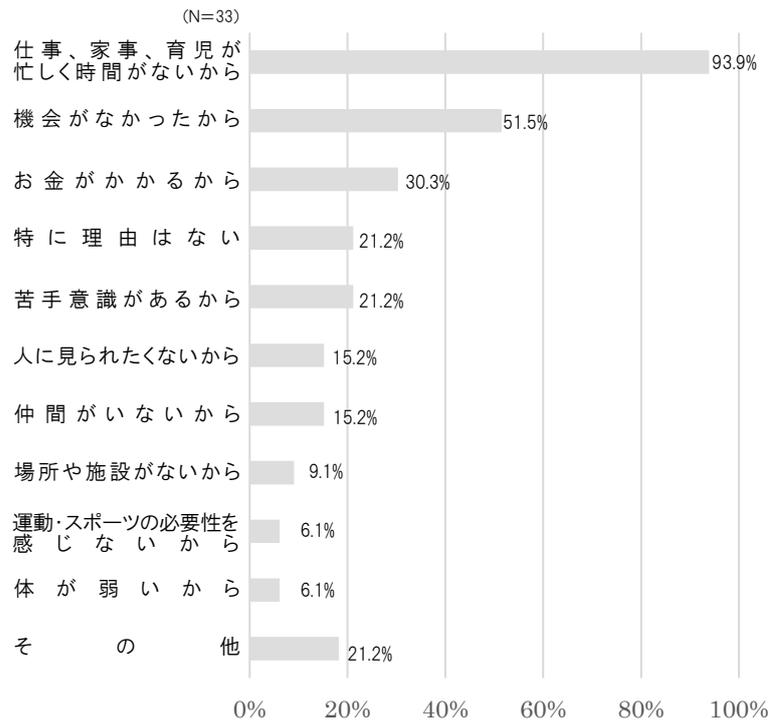


(6) この1年間に運動・スポーツをしなかった理由

この1年間に運動・スポーツを行わなかったとする人に、その理由を聞いたところ、「仕事、家事、育児が忙しく時間がないから」が93.9%と最も高く、次いで「機会がなかったから」が51.5%、「お金がかかるから」が30.3%、「特に理由はない」と「苦手意識があるから」が21.2%の順となりました（複数回答上位4項目）。

「その他」には、「腰・膝が痛い」、「介護のため」、「気力がない」などがありました。

【この1年間に運動・スポーツを行わなかった理由】 (複数回答)

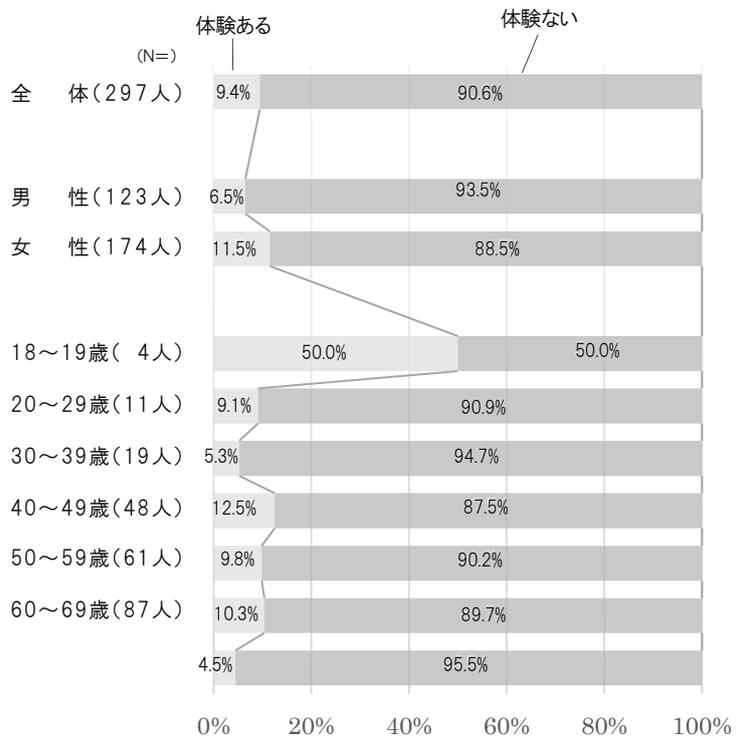


(7) パラスポーツ体験の有無

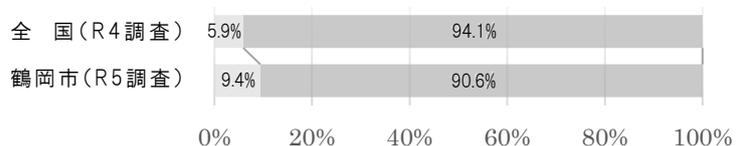
これまで過去一度でもパラスポーツ（車いすテニス、ボッチャ等の障がい者スポーツ）を体験したことがあるか聞いたところ、「体験したことがある」人の割合は、全体での9.4%（全国5.9%）となりました。

ホストタウンとして、パラスポーツのボッチャ競技の普及に取り組んでいることから、全国と比較して3.5ポイント多くなっています。

【パラスポーツ体験の有無】



【参考】



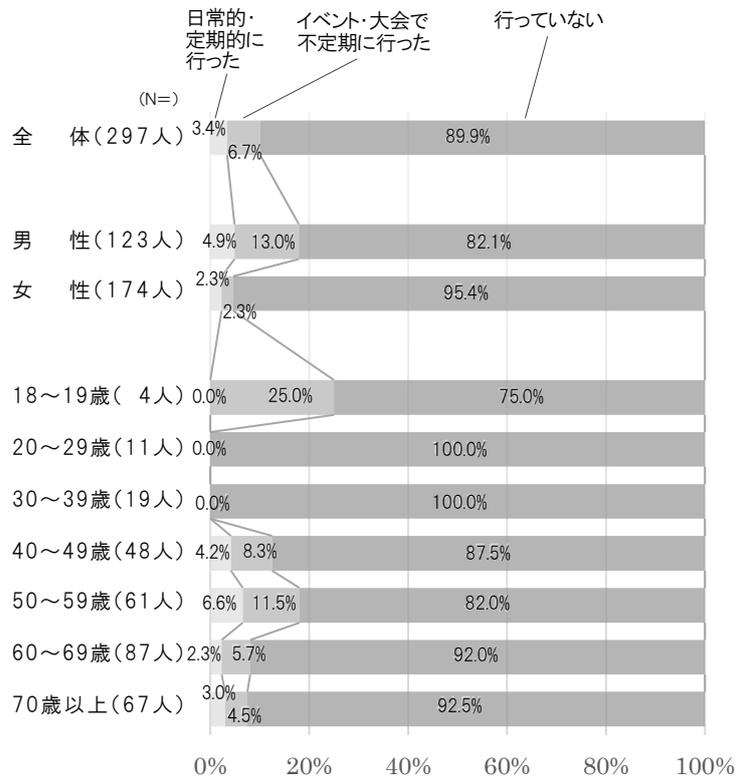
4. スポーツに関するボランティア活動について

(1) この1年間のスポーツに関するボランティア活動の有無

この1年間にスポーツの指導やスポーツ大会の運営など、スポーツに関するボランティア活動を行ったかを聞いたところ、『行った』とする人の割合は、全体で10.1%となりました(全国9.9%)。市前回調査(20.7%)から半減しました。コロナ禍による大会等の中止による影響が考えられます。

男女別に見ると、男性が17.9%と高く、年代別に見ると、10歳代(25.0%)、40歳代(12.5%)、50歳代(18.1%)の割合が、全体の割合より高くなりました。

【この1年間のスポーツに関するボランティア活動の有無】

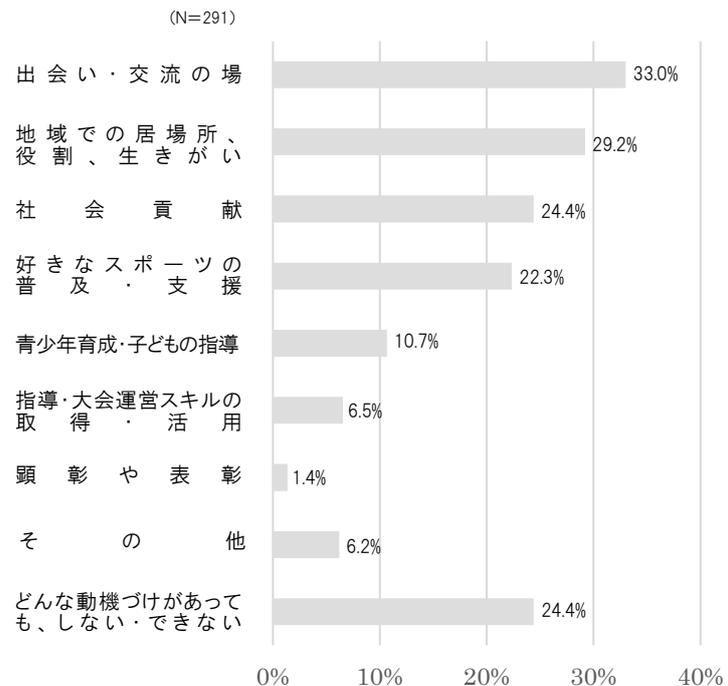


(2) スポーツに関するボランティア活動を行うために必要な動機づけ

どんな動機づけ(モチベーション)があれば、スポーツに関するボランティア活動を行ったり続けたりするかを聞いたところ、「出会い・交流の場」が33.0%と最も高く、次いで「地域での居場所、役割、生きがい」が29.2%、「社会貢献」が24.4%、「好きなスポーツの普及・支援」が22.3%の順となりました(複数回答上位4項目)。

【スポーツに関するボランティア活動を行うために必要な動機づけ】

(複数回答)



5. 総合型地域スポーツクラブについて

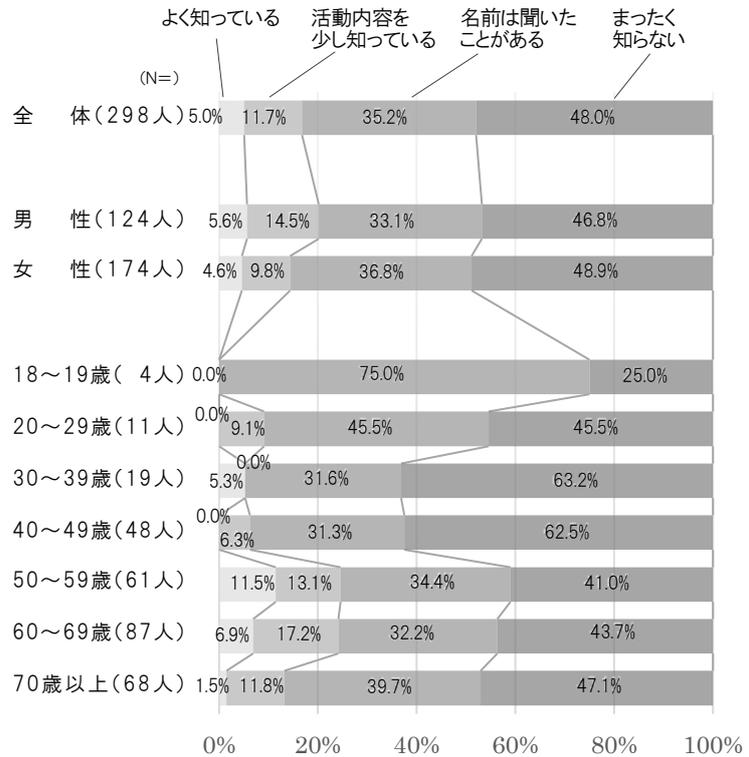
(1) 総合型地域

スポーツクラブの認知度

総合型地域スポーツクラブを知っているかを聞いたところ、「よく知っている」、「活動内容を少し知っている」、「名前は聞いたことがある」とする人の割合は、全体で51.9%となりました。この割合は、市前回調査時の69.5%と比較すると17.6ポイント減少しました。

男女別に見ると、大きな差異はなく、年代別に見ると、30～40歳代の認知度が低くなっています。

【総合型地域スポーツクラブの認知度】



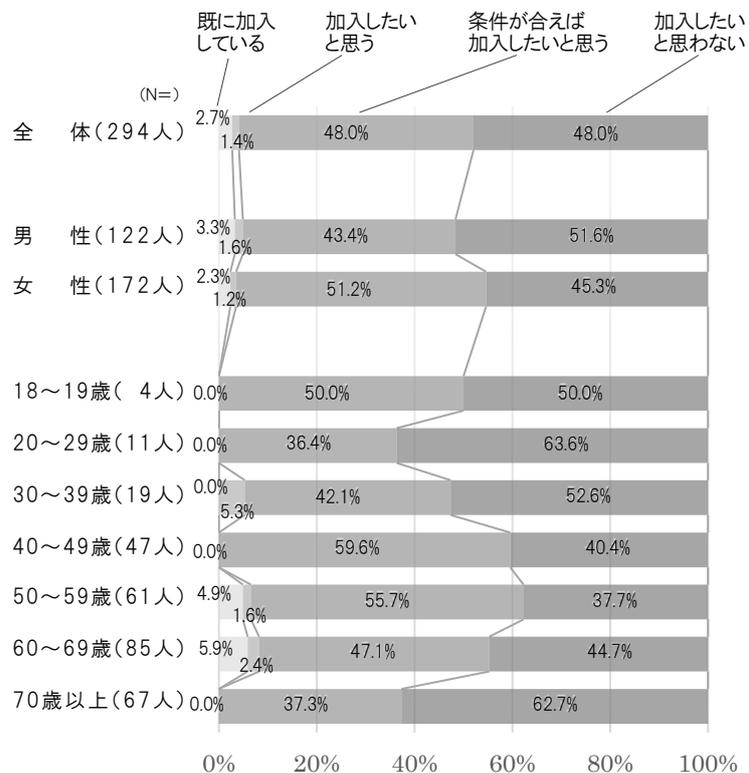
(2) 総合型地域スポーツ

クラブへの加入意欲

総合型地域スポーツクラブに加入したいと思うかを聞いたところ、「既に参加している」、「加入したいと思う」とする人の割合は、全体で4.1%となりました。この割合は、市前回調査時の12.0%と比較すると7.9ポイント減少しました。

「条件が合えば加入したいと思う」とする人の割合は全体の48.0%となりました。

【総合型地域スポーツクラブへの加入意欲】

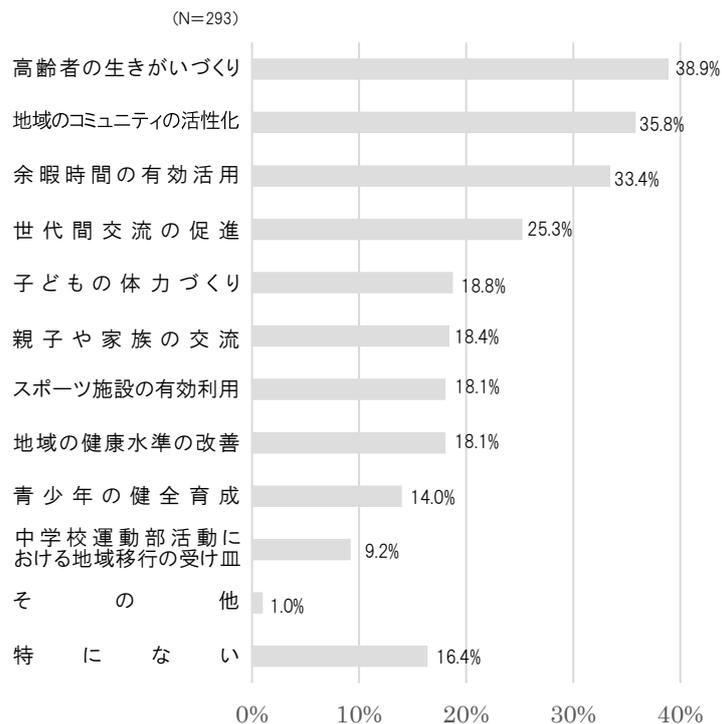


(3) 地域のスポーツ活動に
期待する効果

【地域のスポーツ活動に期待する効果】

(複数回答)

地域のスポーツ活動に期待する効果を聞いたところ、「高齢者の生きがいづくり」が38.9%と最も高く、次いで「地域のコミュニティの活性化」が35.8%、「余暇時間の有効活用」が33.4%、「世代間交流の促進」が25.3%の順となりました(複数回答上位4項目)。



6. 鶴岡市のスポーツ施設について

(1) 利用したことのある

鶴岡市のスポーツ施設

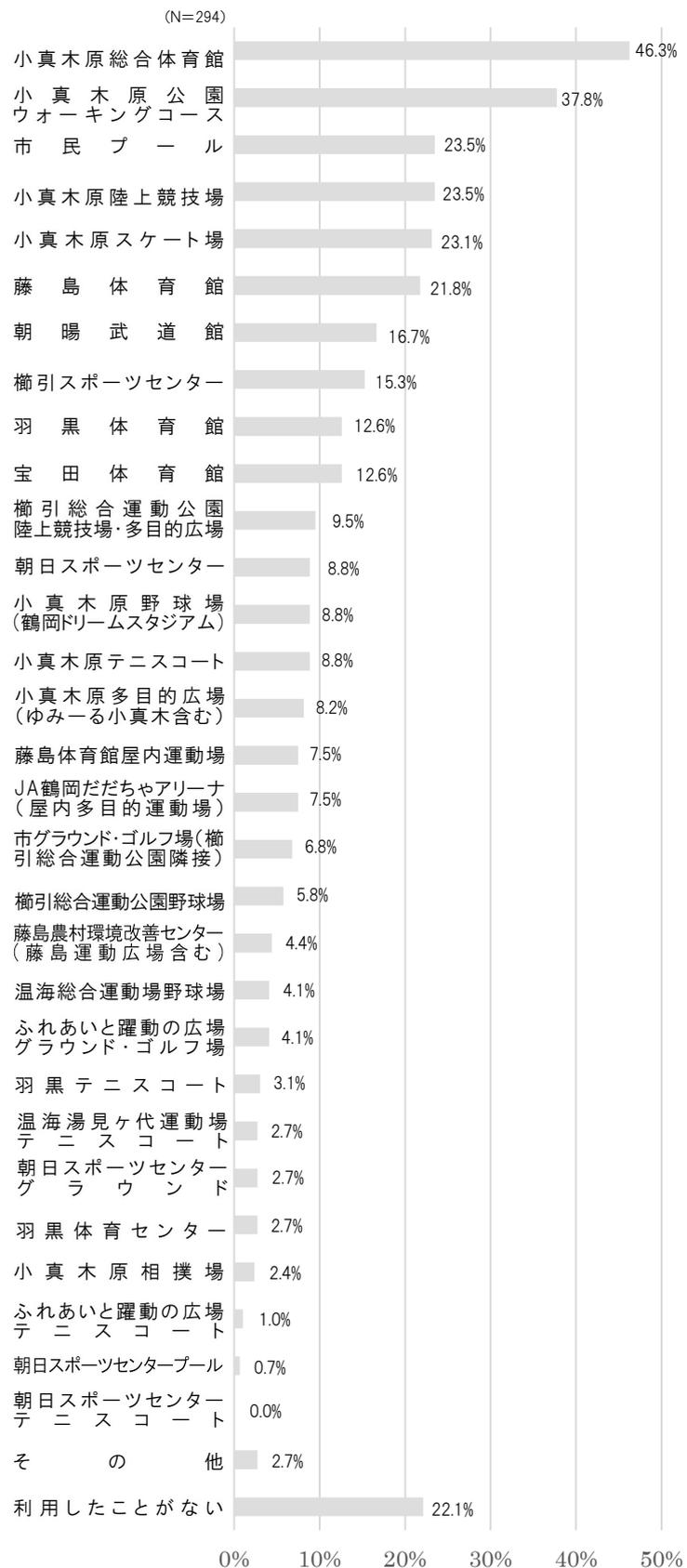
利用したことのある鶴岡市のスポーツ施設（学校体育施設開放は除く）を聞いたところ、「小真木原総合体育館」が46.3%と最も高く、次いで「小真木原公園ウォーキングコース」が37.8%、「市民プール」と「小真木原陸上競技場」が23.5%となりました（複数回答上位4項目）。

「その他」には、地域のコミュニティセンター、公民館、にこ♥ふる、スパール、大山運動広場、赤川河川緑地などがありました。

また、「どの施設も利用したことがない」とした人の割合は、22.1%となりました。

【利用したことのある鶴岡市のスポーツ施設】

(複数回答)

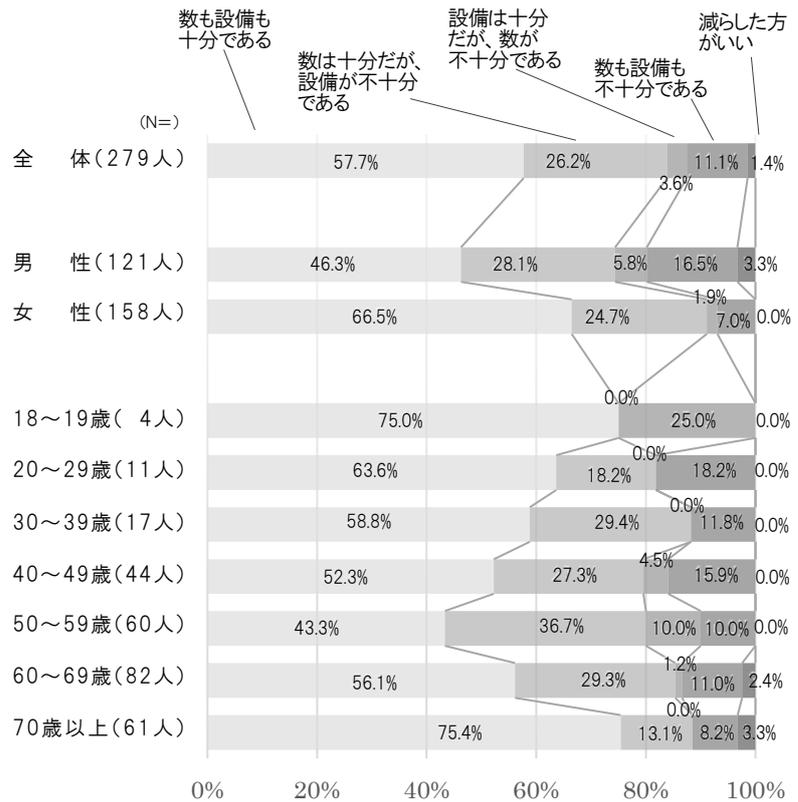


(2) 鶴岡市のスポーツ施設の
数や設備は十分であるか

鶴岡市のスポーツ施設の数や設備が十分であると思うかを聞いたところ、「数も設備も十分である」とする人の割合は、全体で57.7%となりました。

『数が不十分』とする人の割合は、14.7% (3.6%+11.1%) となり、『設備が不十分』とする人の割合は、37.3% (26.2%+11.1%) となりました。

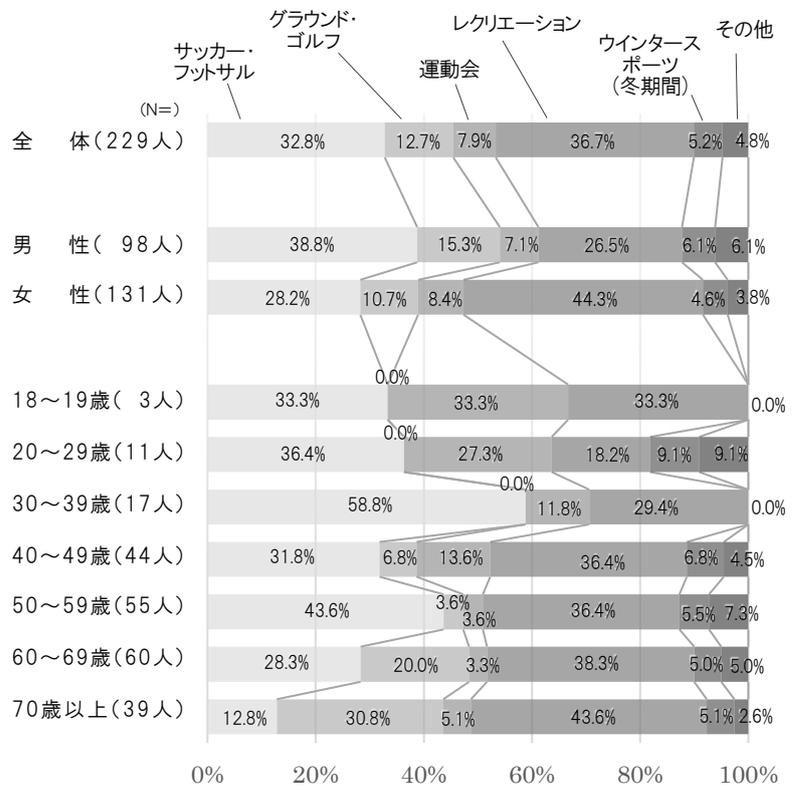
【鶴岡市のスポーツ施設の数や設備は十分であるか】



(3) 人工芝グラウンド整備後の
利用の仕方

人工芝グラウンド整備後の利用の仕方について聞いたところ、「サッカー、フットサル」32.8%、「レクリエーション」36.7%、「グラウンド・ゴルフ」12.7%、「運動会」7.9%の順となりました (上位4項目)。

【人工芝グラウンド整備後の利用の仕方】



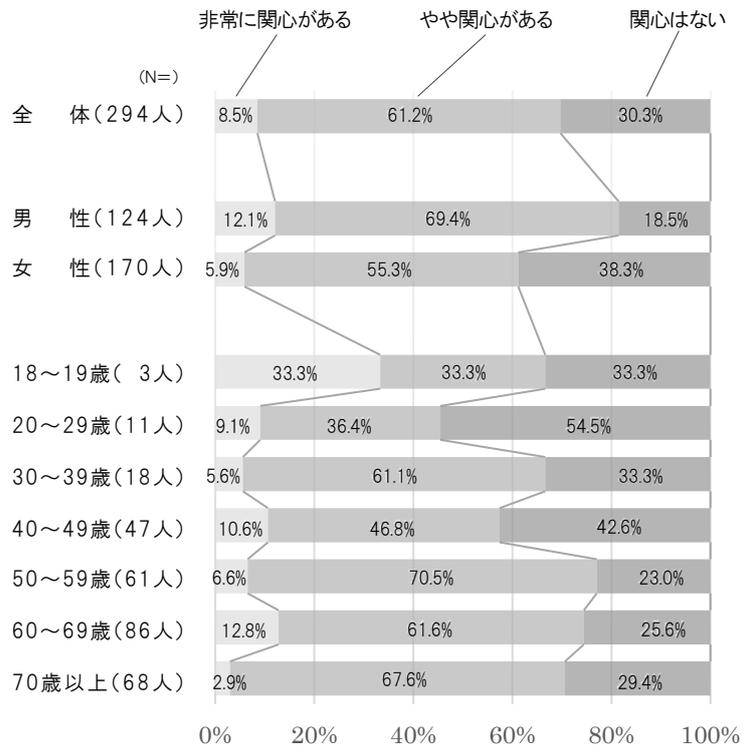
7. プロスポーツチームへの関心について

(1) プロスポーツチームへの関心度

山形県で活動(試合開催等)している、またはホームスタジアムを有しているプロスポーツチーム(モンテディオ山形、パスラボ山形ワイヴァンズ、アランマーレ)の活躍に関心があるかを聞いたところ、「非常に関心がある」と「やや関心がある」とする人の割合は、全体で69.7%となりました。

男女別に見ると、男性が81.5%と高く、年代別に見ると、50歳代が77.1%と最も高い割合となりました。

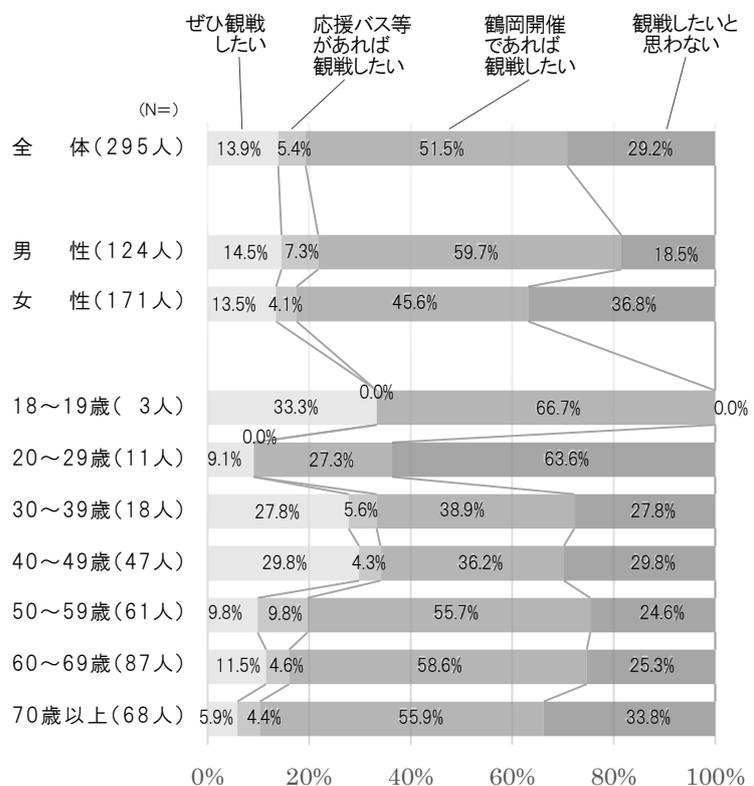
【プロスポーツチームへの関心度】



(2) プロスポーツチームの試合の直接観戦意欲

山形県内で開催されるプロスポーツチームの試合を直接観戦したいと思うかを聞いたところ、条件付きを含めて「観戦したい」とする人の割合は、全体で70.8%となり、その内、「鶴岡開催であれば観戦したい」が51.5%と高く、市前回調査時の45.8%から5.7ポイント増加しました。

【プロスポーツチームの試合の直接観戦意欲】



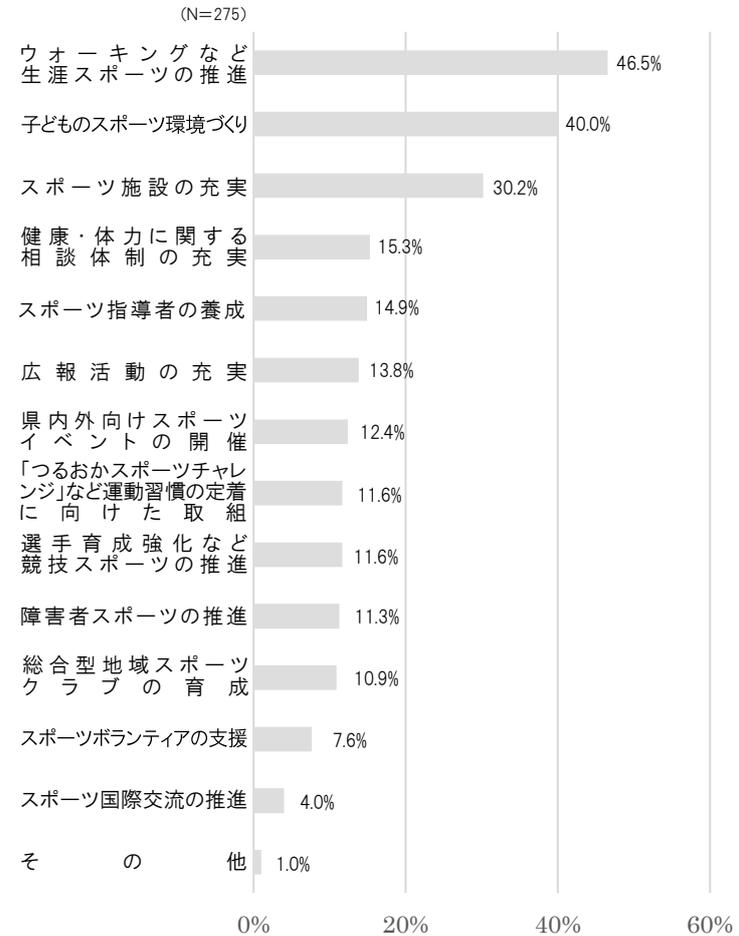
8. 鶴岡市のスポーツ振興について

(1) 今後、鶴岡市で運動やスポーツを推進するために優先すべき取り組み

鶴岡市における運動・スポーツ活動をもっと推し進めるために、今後どのようなことに力を入れた方が良いと思うかを聞いたところ、「ウォーキングなど生涯スポーツの推進」が46.5%と最も高く、次いで「子どものスポーツ環境づくり」が40.0%、「スポーツ施設の充実」が30.2%、「健康・体力に関する相談体制の充実」が15.3%の順となりました（複数回答上位4項目）。

【今後、鶴岡市で運動やスポーツを推進するために優先すべき取り組み】

(複数回答)



(2) 鶴岡市の運動・スポーツに関するご意見・ご提言

■身近で利用しやすい施設について

- ・使用しやすい施設の情報と施設管理。
- ・幅広い年代の方が気軽に足を運べるような雰囲気づくりをしてほしい。
- ・健康に不安をかかえ声を出せずにいる人もいるので、交流の場になってほしい。
- ・体育館使用料を市民無料にしてほしい。
- ・特に冬期間など、定期的に、藤島体育館行きなどのバス運行があるといい。
- ・規則と言われて入りづらい。自由に出入りできる機会があればいい。
- ・スポーツクラブなどに加入していない一般の人でも利用しやすい施設になるといい。
- ・料金が安く、仕事帰り運動ができる施設があるといい。
- ・施設の料金を下げて、時間制にしてはどうか。
- ・小真木原公園があり、とてもすばらしいと思う。
- ・散歩感覚で利用出来れば有難い。

■施設整備について

- ・櫛引のサッカー場へ人工芝を入れ、周りを整備して子供達が安全に遊べる施設を充実させてほしい。
- ・親子が室内で運動できる場所があるといい。
- ・スポーツ施設や運動公園など、場所があっても整備が不十分など多いと感じる。子供達が外で遊ぶための公園施設の整備もしてほしい。危ない遊具も見受けられるため更新も定期的に行ってほしい。
- ・家族で運動できるアスレチックのような場所を増やしてほしい。
- ・人口減に合わせた施設数を十分考えるべき。
- ・施設の老朽化が目立っている。トイレ(特に陸上競技場)等整備してほしい。
- ・何かを整備するとしたら永久的に使えるもので、維持も充分やっていける体制づくりからしっかりとやってほしい。
- ・近くにグラウンドゴルフ場を整備してほしい。
- ・市民プールは古くて改修・新設が必要。
- ・大山運動広場の水はけがよくなるように整備してほしい。
- ・無料で使える施設をもっと作ってほしい(小真木以外に。テニスコート、バスケットゴールなど)。
- ・自然を取り入れたアスレチックの施設を作ってほしい。
- ・人工芝グラウンド整備については、市民の老若男女全ての人が利用できる設備にしてほしい。
- ・各スポーツ施設の花いっぱい運動や草刈り除草などで、各スポーツ団体、世代間交流としてみんなできれいにしてほしい。
- ・旧鶴岡市以外の所にも作ってほしい。
- ・温海地域に体育館がほしい。
- ・施設設備の充実

■設備について

- ・小真木原公園を仕事終わりにランニングするが、暗すぎるのではないかと。街灯が少なく不安になるため、防犯対策のためにも街灯を増やしてほしい。
- ・ウォーキングコースとランニングコースを分けて、ウォーキングコースをチップ材などの緩衝材にしてほしい。
- ・小真木原公園は、健康器具も多数点在していて、とてもいいと思う。
- ・小真木原公園の設備(トイレ等)を新しくしてほしい。
- ・朝陽武道館の畳を更新してほしい。
- ・市のグラウンドゴルフ場(櫛引)は、雑草等の繁茂が見られる。

■プロスポーツについて

- ・庄内でもモンテディオの試合を観戦できるように検討してほしい。
- ・プロスポーツチームの庄内での活動が非常に少ないと思う。
- ・プロ野球が来たら嬉しい。

■広報活動について

- ・スポーツを通し、鶴岡のアピールの拡大を図ってほしい。
- ・鶴岡に自然があるのに県外や世界に向けてアピールができていない。
- ・障害者のスポーツの広報は不足していると思う。
- ・JA鶴岡ただちゃアリーナに行ってみたが、人が少なかった。
- ・イベントアナウンス。

■子どもの環境について

- ・スポーツは、体力増進に加えて、地域づくりの側面がある。地区駅伝を通じて青少年の育成、地域づくりにつなげたい。
- ・子供達に各競技のプレーヤーとのふれあいの機会を提供し、楽しさや目標を持つことの大切さを知ってほしい。

- ・子供達が熱中できるようなスポーツを導いていく指導者の育成。
- ・家庭環境に左右されず、子ども達がスポーツに挑戦する夢を与えられるような支援があるといい。
- ・テニスの練習場所の確保が大変だった。
- ・子どものスポーツ環境について、スポーツは人育ての一環、人材育成（勝敗だけではない）。良い指導者にめぐり合うことが出来たら幸せだと思う。
- ・今、中学校の休日の部活動が地域移行され、クラブチームが増えている。練習場所確保が非常に困難になってきている。
- ・子供が外で遊んで体力をつけられるアスレチックなどがあるといい。

■競技力向上について

- ・冬季スポーツを今以上に盛り上げてほしい。

■スポーツ振興について

- ・アーチェリーへの関心や国際交流の推進。
- ・冬期間において体育館などでスポーツイベントの開催をもっとしてほしい。
- ・土日など休みの日に親子で楽しく運動できるイベントなどがあるといい。
- ・参加しやすいイベントがあるといい。
- ・スポーツイベントと食を組み合わせた行事があるといい。手軽で1回から参加可能な、初心者からできるもの(ピラティス・ヨガ・ダンスなど)。
- ・スポーツをやった事が無い人を対象にしたイベントがあってもいい。
- ・高齢になってくるとスポーツするための体力作りが必要だ。
- ・人生の中でスポーツは苦手で来たが、若いときに挑戦して体を鍛えておけばよかった。
- ・運動をしたいが、一人では続かない。
- ・「運動・スポーツ」というとハードルが高く感じられるが、ストレッチや筋トレも含むとなると取り組みやすいので、その定義をもっと広めてほしい。
- ・高齢者でも気軽に参加できる軽スポーツ行事があるといい。「運動・スポーツ」といわれると、何かキツイのかなと思い、億劫になる。苦手な人でも恥ずかしくなく、自分の体力や運動能力に合わせて楽しめるものがあればいい。
- ・ひざを痛めているので自宅で機具を使ったり、ウォーキングや軽運動を行っている。
- ・年間を通じた健康寿命を延ばすためのプログラムがあればいい。
- ・レクリエーションでは、ちょっとした山歩きとか、鶴岡の豊かな自然をみんなで楽しめると、高齢者に不足しがちなコミュニケーションの場作りにもなると思う。若い人も参加すれば、世代間交流にもなる。
- ・中高年の健康ウォーキングイベントにレクリエーションなどを織り交ぜて推進してほしい。
- ・退職された学校の先生やスポーツ経験者からボランティアに入ってもらい、いろんなレベルの人が参加できるレクリエーションなどのイベントを作してほしい。
- ・企業、会社に鶴岡市が働きかけて、団体にスポーツするようになれば、若い世代も地域のスポーツへの参加が多くなり、心身共に健康になる方が増えるのではないかな。
- ・車を1人1台所有している山形県特有の生活事情も加味しながら、市民・県民の体力づくりを進めることが必要だと思う。
- ・運動量でポイントがもらえるようなスマホアプリを活用し、無理なく楽しく取り組める仕掛けと負担を少なくしたら長く続くと思う。

■市政について

- ・少子化に伴い、運動会や部活など、大人数で行う競技が困難になってきている。部活によっては学校単位でできなくなり、人数の少ない学校がチームを組むなど体制が変わってきている。
- ・マニュアル対応を重視・優先するような考え・実務では、子ども・市民の望む環境を構築するにあたって支障となっている。

スポーツの実施状況等に関するアンケート調査票

【鶴岡市調査】 アンケートにかかる時間…約10分

日頃から市民の皆さんには、市政の運営に多大なご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

このたび、本市では、皆さんの運動・スポーツに関する実施状況などを把握し、今後のスポーツ施策の参考とするため、本調査を実施することいたしました。

この調査票は、住民基本台帳から無作為に抽出した18歳以上（令和5年4月1日現在の満年齢）の鶴岡市民1,000人にお送りしています。

回答いただいた内容は、すべて統計的に処理しますので、個人が特定されることはありません。また、本調査の目的以外で利用することはありません。

お忙しいところ誠に恐れ入りますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和5年5月

鶴岡市教育委員会 教育長 布川 敦

【ご記入にあたってのお願い】

- ◆ 封筒の宛名となっている方、ご本人がご回答ください。
 - ◆ 回答は、当てはまる項目の番号を○で囲んでください。
 - ◆ 「その他」を選んだ場合は、() の中にもご記入ください。
 - ◆ 回答に迷う場合は、できるだけ近いものを選んでご記入ください。
 - ◆ 回答方法は、①QRコードによる「やまがたe申請」フォーム  のいずれか1つをお願いします。
- ②同時の封筒（切手不用）での返送

◆ 郵送回答期限 **令和5年6月20日（火）まで**

—— 質問にある「運動・スポーツ」とは……
 いわゆる競技スポーツのことだけではなく、散歩や体操、レクリエーション、レジャーや趣味など、体を動かすことを伴う活動であれば、幅広く「運動・スポーツ」としてお考えください。

※本調査に関するお問い合わせは※

鶴岡市教育委員会スポーツ課

〒997-0825 鶴岡市小真木町2番1号

電話 0235-25-8131 ファクス 0235-25-8134

E-mail : sports@city.tsuruoka.yamagata.jp

担当：佐藤

■はじめに、あなたご自身のことについて伺います。

- 問1 あなたの性別を教えてください。
1. 男性 2. 女性
- 問2 あなたの年齢（年代）を教えてください。（令和5年4月1日現在の満年齢）
1. 10歳代 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代
 5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳代 8. 80歳以上
- 問3 あなたの居住地域を教えてください。
1. 鶴岡地域 2. 藤島地域 3. 羽黒地域
 4. 権引地域 5. 朝日地域 6. 温海地域

■次に、健康・体力に対する意識について伺います。

- 問4 あなたは、このところ健康だと思いますか。（○は一つ）
1. 健康である 2. どちらかといえば健康である
 3. どちらかといえば健康でない 4. 健康でない 5. わからない
- 問5 あなたは、ご自分の体力についてどのように感じていますか。（○は一つ）
1. 体力に自信がある 2. どちらかといえば体力に自信がある
 3. どちらかといえば体力に不安がある 4. 体力に不安がある
 5. わからない
- 問6 あなたは、普段、運動不足を感じますか。（○は一つ）
1. 大いに感じる 2. ある程度感じる 3. 感じる
 4. あまり感じない 5. ほとんど感じない 6. 感じない
 7. わからない
- 問7 あなたは、運動・スポーツに関心がありますか。（○は一つ）
1. 非常に関心がある 2. 関心がある
 3. あまり関心がない 4. 関心がない 5. わからない

■次に、運動・スポーツの実施状況などについて伺います。

問8 あなたがこの1年間に行った運動・スポーツのすべてに○を付けてください。
(○はいくつでも)

1. ウォーキング (散歩などを含む)
2. ランニング (ジョギング)、マラソン、駅伝
3. 体操 (ストレッチ・ラジオ体操、職場体操など)
4. トレーニング (筋トレ、縄跳び、ランニングマシンなど)
5. 階段昇降 (なるべく階段を使うようにしたなど)
6. 自転車・サイクリング
7. ダンス・エアロビクス・ヨガ・バレエ
8. グラウンドゴルフ、ターゲットバードゴルフ・ダートボール
9. ボッチャ・輪投げ・シャフルボード
10. ボウリング・ゴルフ
11. 釣り・キャンプ・オートキャンプ
12. 陸上競技・体操競技
13. バスケケットボール、バレーボール、ソフトバレーボール
14. 野球・ソフトボール、キャッチボール
15. サッカー・フットサル・ラグビー
16. テニス・ソフトテニス・卓球・バドミントン
17. 登山、トレッキング・クライミング・ボルダリング
18. アーチERY・クレール射撃
19. 柔道・剣道・空手道・弓道・合気道・剣道・少林寺拳法
20. レスリング・相撲・ウエイトリフティング・ボクシング
21. 水泳 (競泳・水中エクササイズ、水中ウォーキング)
22. ヨット・カヌー・サーフィン・スクーバダイビング
23. アイススケート、アイスホッケー、スキー・スノーボード
24. その他 ()

25. この1年間に運動・スポーツを全くしなかった → 問12へお進みください。

問9 【問8で№1～24に○を付けた方 (運動・スポーツをした方) に伺います】

この1年間に運動・スポーツを行った日数を全部合わせると、どのくらいの頻度になりますか。(○は一つ)

1. 毎日
2. 週に6日
3. 週に5日
4. 週に4日
5. 週に3日
6. 週に2日
7. 週に1日
8. 月に1～3日程度
9. 3か月に1～2日
10. 年に1～3日

問10 【問8で№1～24に○を付けた方 (運動・スポーツをした方) に伺います】

この1年間の運動・スポーツの実施頻度に満足していますか。(○は一つ)

1. 満足している
2. もっとやりたいと思う
3. どちらともいえない

問11 【問8で№1～24に○を付けた方 (運動・スポーツをした方) に伺います】

運動やスポーツをしたのはどんな理由からですか。(○はいくつでも)

1. 健康・体カつくりのため
2. 楽しみ、気晴らしとして
3. 運動不足を感じるから
4. 精神の修養や訓練のため
5. 自己の記録や能力を向上させるため
6. 家族のふれあいとして
7. 友人・仲間との交流として
8. 美容やダイエットのため
9. 特定保健指導や生活習慣病改善
10. その他 ()

問12 【問8で№25に○を付けた方 (運動・スポーツをしなかった方) に伺います】

運動・スポーツをしなかったのはどんな理由からですか。(○はいくつでも)

1. 仕事・家事・育児で忙しく時間が足りないから
2. 機会がなかったから
3. 仲間がいないから
4. 場所や施設がないから
5. お金がかかるから
6. 体が弱いから
7. 人に見られたくないから
8. 苦手意識があるから
9. 運動・スポーツの必要性を感じないから
10. 特に理由はない
11. その他 ()

問13 あなたは、これまで過去一度でもパラスポーツ (車いすテニス、ボッチャ等の

障がい者スポーツ) を体験したことがありますか。

1. ある
2. ない

■次に、スポーツに関するボランティア活動について伺います。

問14 あなたは、この1年間にスポーツの指導やスポーツ大会の運営など、スポーツに関するボランティア活動を行いましたか。(〇は一つ)

1. 日常的・定期的に行った
2. イベント・大会で不定期に行った
3. 行っていない

問15 あなたは、どんな動機づけ(モチベーション)があれば、スポーツに関するボランティア活動を行ったり続けたりすると思いますか。(〇はいくつでも)

1. 好きなスポーツの普及・支援
2. 地域での居場所、役割、生きがい
3. 出会い・交流の場
4. 指導・大会運営スキルの取得・活用
5. 社会貢献
6. 青少年育成・子どもへの指導
7. 顕彰や表彰
8. その他()
9. どんな動機づけがあっても、しない・できない

■次に、総合型地域スポーツクラブについて伺います。

問16 あなたは、総合型地域スポーツクラブを知っていますか。(〇は一つ)

1. よく知っている
2. 活動内容を少し知っている
3. 名前は聞いたことがある
4. まったく知らない

問17 あなたは、総合型地域スポーツクラブへ加入したいと思えますか。(〇は一つ)

1. 既に加入している
2. 加入したいと思う
3. 条件が合えば加入したいと思う
4. 加入したいと思わない

問18 あなたが、地域のスポーツ活動に期待する効果は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 親子や家族の交流
2. 余暇時間の有効活用
3. 地域のコミュニティの活性化
4. 世代間交流の促進
5. 子どもの体力づくり
6. 青少年の健全育成
7. 高齢者の生きがいづくり
8. 地域の健康水準の改善
9. スポーツ施設の有効利用
10. 中学校運動部活動における地域移行の受け皿
11. 特になし
12. その他()

■次に、鶴岡市のスポーツ施設について伺います。

問19 あなたが利用したことのある鶴岡市のスポーツ施設(学校体育施設開放は除く)すべてに〇を付けてください。(〇はいくつでも)
どの施設も利用したことがない場合は、「32 利用したことがない」に〇を付けてください。

1	小真木原総合体育館	17	藤島体育館屋内運動場
2	小真木原陸上競技場	18	藤島農村環境改善センター (藤島運動広場含む)
3	朝陽武道館	19	羽黒体育館
4	小真木原テニスコート	20	羽黒テニスコート
5	小真木原スケート場	21	羽黒体育センター
6	小真木原野球場 (鶴岡ドリームスタジアム)	22	榑引スポーツセンター
7	小真木原相撲場	23	榑引総合運動公園陸上競技場・多目的広場
8	小真木原多目的広場 (ゆみーる小真木含む)	24	榑引総合運動公園野球場
9	小真木原公園ウォーキングコース	25	朝日スポーツセンター
10	宝田体育館	26	朝日スポーツセンターテニスコート
11	市グラウンド・ゴルフ場 (榑引総合運動公園隣接)	27	朝日スポーツセンターグラウンド
12	市民プール	28	朝日スポーツセンタープール
13	J.A.鶴岡ただちやアリーナ (屋内多目的運動場)	29	温海湯見ヶ代運動場テニスコート (グラウンド・ゴルフ場)
14	藤島体育館	30	温海総合運動場 (野球場)
15	ふれあいと運動の広場 テニスコート(藤島)	31	その他()
16	ふれあいと運動の広場 グラウンドゴルフ場(藤島)	32	利用したことがない ※その理由 ()

問20 あなたは、鶴岡市のスポーツ施設の数や設備などについて、どのように思いますか。(○は一つ)

1. 数も設備も十分である
2. 数は十分だが、設備が不十分である
3. 設備は十分だが、数が不十分である
4. 数も設備も不十分である
5. 施設を減らした方がいい
6. その他()

問21 鶴岡市として人工芝グラウンド整備を検討しておりますが、どのような利用を希望しますか。(○は1つ)

1. サッカー・フットサル
2. グラウンド・ゴルフ
3. 運動会
4. レクリエーション
5. ウィンタースポーツ(冬期間)
6. その他()

■次に、プロスポーツチームへの関心について伺います。

問22 あなたは、山形県で活動している(試合開催等)、またはホームスタジアムを有しているプロスポーツチーム等(モンテディオ山形、バスラホ山形ワイヴァンズ、アランマーレ)の活躍に関心がありますか。(○は一つ)

1. 非常に関心がある
2. やや関心がある
3. 関心はない

問23 あなたは、山形県内で開催されるプロスポーツチーム等の試合を直接観戦したいと思いますか。(○は一つ)

1. ぜひ観戦したい
2. 応援バスなどがあれば観戦したい
3. 観回開催であれば観戦したい
4. 観戦したいと思わない

■次に、鶴岡市のスポーツ振興について伺います。

問24 あなたは、鶴岡市における運動・スポーツ活動をもっと推し進めるために、今後どのようなことを入れた方がいいと思いますか。(○は3つまで)

1. ウォーキングなど生涯スポーツの推進
2. スポーツ施設の充実
3. 総合型地域スポーツクラブの育成
4. 子どものスポーツ環境づくり
5. 選手育成強化など競技スポーツの推進
6. スポーツ国際交流の推進
7. スポーツ指導者の養成
8. スポーツボランティアの支援
9. 県内外向けスポーツイベントの開催
10. 障害者スポーツの推進
11. 健康・体力に関する相談体制の充実
12. 広報活動の充実
13. 「つるおかスポーツチャレンジ」など運動習慣の定着に向けた取組

チラシ在中 参加募集中!

14. その他()

問25 鶴岡市の運動・スポーツに関することで、ご意見・ご提言をご記入ください。

【自由記入欄】運動・スポーツに関するご意見等がありましたらご記入ください。

アンケートは以上で終了です。ご協力ありがとうございます。

令和5年度
スポーツの実施状況等に関するアンケート調査
【鶴岡市調査】
結果報告書

鶴岡市教育委員会スポーツ課
〒997-0825 山形県鶴岡市小真木原町2番1号
TEL：0235-25-8131 FAX：0235-25-8134
Mail：sports@city.tsuruoka.yamagata.jp